

平成 29 年 10 月入学
平成 30 年 4 月入学

佐賀大学大学院 医学系研究科 学生募集要項

博士課程 医科学専攻
修士課程 医科学専攻
修士課程 看護学専攻



佐 賀 大 学

佐賀大学ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/>
医学系研究科ホームページ <http://www.gsmed.saga-u.ac.jp/index.html>
入試関係メールアドレス contact@mail.admin.saga-u.ac.jp

目 次

佐賀大学大学院 医学系研究科の基本理念等	2
アドミッションポリシー	5
博士課程医科学専攻	
I 学生募集要項（博士課程医科学専攻）	10
II 博士課程医科学専攻案内	17
修士課程医科学専攻	
III 学生募集要項（修士課程医科学専攻）	25
IV 修士課程医科学専攻案内	32
修士課程看護学専攻	
V 学生募集要項（修士課程看護学専攻）	39
VI 修士課程看護学専攻案内	46
共通事項	
1 入学手続	50
2 納入金	50
3 奨学金制度	50
4 保険制度について	51
5 障がい等を有する志願者との事前相談について	51
6 本学医学系研究科独自の奨学制度	52
7 社会人学生に対する修学上の配慮	52
8 その他	53
佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内	54

個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、入学者選抜にかかわる業務（統計処理などの付随する業務を含む。）以外に、教育目的等（入学金・授業料免除、入学金徴収猶予及び奨学金等を含む。）に利用します。

※ 本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

出願方法について

佐賀大学大学院では、PDF フォーム等を利用した願書の受付を行っています。志願者は、出願に必要な書類を電子ファイルとして管理できますので、早く簡単に書類作成が可能です。これに伴い、募集要項については、原則としてホームページでご確認いただくことにしました。

※ PDF フォームとは、PDF の閲覧に利用する無償の Adobe Reader で直接データを入力できるようにした PDF です。

※ Adobe Reader をお持ちでない方は、最新のプラグインを入手してください。

※ A4 サイズの印刷が可能なプリンターのない方、PDF が表示されない方は、学務部入試課へ資料請求してください。

● 出願までの手順（概略）

- ・本学ホームページから PDF フォーム等必要な書類をダウンロードしてパソコンに保存してください。必要な書類については、本要項記載の「出願書類等」のページでご確認ください。
- ・入学願書・受験票等に必要事項を入力後、印刷してください。
- ・検定料は、振込依頼書を印刷し銀行で振込み手続きを行ってください。
- ・印刷した出願用封筒ラベルを市販の角形 2 号の封筒に貼付し、書類一式を入れて提出してください。なお出願用封筒については、学務部入試課においても配布しています。
- ・出願書類は手書きでもかまいません。

大学院入学試験日程等

○ 平成 29 年 10 月入学

事 項	日 程
入学資格審査申請	平成 29 年 7 月 7 日 (金) まで
出 願 期 間	平成 29 年 7 月 26 日 (水) ~ 8 月 1 日 (火)
試 験 期 日	平成 29 年 9 月 5 日 (火)
合 格 者 発 表	平成 29 年 9 月 25 日 (月)
入 学 手 続 き	平成 29 年 9 月 26 日 (火) ~ 9 月 29 日 (金)

○ 平成 30 年 4 月入学 (1 次募集)

事 項	日 程
入学資格審査申請	平成 29 年 7 月 7 日 (金) まで
出 願 期 間	平成 29 年 7 月 26 日 (水) ~ 8 月 1 日 (火)
試 験 期 日	平成 29 年 9 月 5 日 (火)
合 格 者 発 表	平成 29 年 9 月 25 日 (月)
入 学 手 続 き	平成 29 年 9 月 26 日 (火) ~ 9 月 29 日 (金)

○ 平成 30 年 4 月入学 (2 次募集)

※ 1 次募集で募集人員に満たない場合、2 次募集を実施します。

事 項	日 程
入学資格審査申請	平成 29 年 10 月 20 日 (金) まで
出 願 期 間	平成 29 年 11 月 8 日 (水) ~ 11 月 15 日 (水)
試 験 期 日	平成 29 年 12 月 12 日 (火)
合 格 者 発 表	平成 29 年 12 月 27 日 (水)
入 学 手 続 き	平成 30 年 3 月 23 日 (金) ~ 3 月 27 日 (火)

佐賀大学大学院 医学系研究科の基本理念等

医学系研究科の【基本理念】

医学・医療の専門分野において、社会の要請に応えうる研究者及び高度専門職者を育成し、学術研究を遂行することにより、医学・医療の発展と地域包括医療（地域社会及び各種の医療関係者が連携し、一丸となって実践する医療）の向上に寄与することを目指します。

■博士課程医科学専攻

【教育目的】

医学・医療の領域において、自立して独創的研究活動を遂行するために必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識と優れた技術を有し、教育・研究・医療の各分野で指導的役割を担う人材を育成します。

【教育目標】

教育成果として、次のことを達成目標とします。

1. 高い倫理観と豊かな人間性を育み、医学・医療の諸分野での指導的役割を果たす能力を身につける。
2. 幅広い専門的知識・技術を身につけ、研究及び医学・医療の諸分野での実践で発揮できる。
3. 自立して研究を行うために必要な実験デザインなどの研究手法や研究遂行能力、あるいは研究能力を備えた高度専門職者としての技量を身につける。
4. 幅広い視野を持ち、国内外の研究者あるいは専門職者と専門領域を通じた交流ができる。

【教育方針】

目的・目標の達成に向けて、次の方針のもとにカリキュラムを編成しています。

1. 育成する人材像ごとに〔基礎医学コース〕、〔臨床医学コース〕、〔総合支援医科学コース〕に沿って、学生ごとの履修カリキュラムを設計し、それぞれの専門的知識・技術と研究・実践能力ならびに関連分野の教育を行う。
2. 各コースにおいて、自立して研究を行うために必要な実験デザインなどの研究手法や研究遂行能力を身につけるための実践的教育を必修科目として行う。
3. 医学・生命科学研究者や医療専門職者として必要な倫理観やコミュニケーション能力などの基礎的な素養ならびに各自の専門性を深めるための授業を共通必修選択科目として行う。
4. 国内外の学会・研究会等に積極的に参加させ、幅広い視野と成果を発信する能力を育てる。

■修士課程医科学専攻

【教育目的】

医学部医学科以外の理系・文系4年制大学学部出身の多様なバックグラウンドを持つ学生を受け入れ、医学の基礎及びその応用法を体系的・集中的に修得させることにより、医学、生命科学、ヒューマンケアなど包括医療の諸分野において活躍する多彩な専門家を育成します。

【教育目標】

教育成果として、次のことを達成目標とします。

1. 高い倫理観と豊かな人間性を育み、包括医療の諸分野でリーダーシップを発揮できる。
2. 医学の基礎とともに志す分野の専門的知識・技術を修得し、それを自らが発展させていく能力を身につける。
3. 科学的・倫理的に思考し、問題解決方法のデザインと研究を遂行する能力を身につける。
4. 国内外に対し幅広い視野を持ち、研究・活動等の成果を発信する能力を身につける。

【教育方針】

目的・目標の達成に向けて、次の方針のもとにカリキュラムを編成しています。

1. 共通必修科目で医学の基礎とともに生命科学倫理を学び、医学・医療の分野に必要な基本的な素養と人間性を育てる。
2. [基礎生命科学系]、[医療科学系]、[総合ケア科学系]、[がん地域医療系]の履修コースにより、それぞれの専門的知識・技術と研究・実践能力の教育を行う。
3. 多彩な専門選択科目により、履修コースに応じた幅広い専門知識を修得させる。
4. 国内外の学会・研究会等に積極的に参加させ、幅広い視野と成果を発信する能力を育てる。

■修士課程看護学専攻

【教育目的】

高度の専門性を有する看護職者にふさわしい広い視野に立った豊かな学識と優れた技能を有し、国内及び国際的に看護学の教育，研究，実践の各分野で指導的役割を果たし，看護学の構築に寄与できる人材を育成します。

【教育目標】

教育成果として，次のことを達成目標とします。

1. 高い倫理観と豊かな人間性を育み，看護学の分野での指導的役割を果たす能力を身につける。
2. 高度で幅広い専門的知識・技術を身につけ，看護学の分野での実践で発揮できる。
3. 自立して研究を行うのに必要な研究デザインなどの研究手法や研究遂行能力，あるいは研究能力を備えた高度専門職者としての技量を身につける。
4. 幅広い視野を持ち，国内外の研究者あるいは専門職者と専門領域を通じた交流ができる。

【教育方針】

目的・目標の達成に向けて，次の方針のもとに教育の実施，カリキュラムの編成をしています。

1. 高い倫理観に基づき看護についての問題を包括的にとらえ，柔軟に解決する研究能力を持った看護職者を育成する。
2. 教育，研究，実践を通して，看護の多様な問題に対処できるように自ら研究し解決する習慣を身につける。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

医学系研究科（博士課程）

【1】求める学生像

医学系研究科は、医学・医療の専門分野において、社会の要請に応えうる研究者及び高度専門職者を育成し、学術研究を遂行することにより、医学・医療の発展と地域包括医療（地域社会及び各種の医療関係者が連携し、一丸となって実践する医療）の向上に寄与することを目指します。各専攻の求める学生像は以下の通りです。

■ 医科学専攻

医学・医療の領域において、自立して独創的研究活動を遂行するために必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識と優れた技術を有し、教育・研究・医療の各分野で指導的役割を担う人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 医学・歯学・獣医学・薬学の6年制学部卒業者で、医学・医療の分野で、研究者あるいは高度専門職業人として社会に貢献したいと考える人
- ② 医学系修士課程あるいはその他の修士課程修了者で、医学系研究科博士課程と合わせて研究者を志す人
- ③ 学習と研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
- ④ 博士課程での教育プログラムを学ぶのに必要な学力・能力を備えた人

【2】入学者選抜の基本方針

医学系研究科の教育・研究理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学院受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、英文読解能力等を問う筆記試験、口頭試問及び成績証明書によって評価します。また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質、さらに、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験と志願理由書によって評価します。

社会人特別入試

大学院受験資格を有し、かつ官公庁、教育機関、病院、企業等の現業に従事し、入学後もその身分を有する者を対象とした社会人特別入試を行います。本入試では、大学院で学

習するために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識と明確な問題意識や研究課題を有しているかを、英文読解能力等を問う筆記試験、口頭試問、業績報告書及び成績証明書によって評価します。また、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験と志願理由書によって評価します。

医学系研究科（博士課程）で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象専攻
知識・理解・思考・判断	大学院で学ぶために必要な汎用的な基礎学力及び専門的な知識	英文読解能力等を問う筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	一般入試 社会人特別入試	全専攻
		成績証明書によって、最終出身学校での学業成績、学習態度を評価します。	一般入試 社会人特別入試	全専攻
	専門分野における学習能力や研究遂行能力	口頭試問によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。	一般入試 社会人特別入試	全専攻
		業績報告書によって、これまでの研究実績及び研究内容を評価します。	社会人特別入試	全専攻
興味・関心・態度・意欲	志望専攻で学ぶための明確な志望動機や入学後の意欲	面接試験と志願理由書によって、志望専攻で学ぶ動機、意欲、積極性等を評価します。※	一般入試 社会人特別入試	全専攻

※学力・能力のみならず意欲・適性等を重視した総合評価により選抜を行います。

それぞれの入試において、志望の動機、学習意欲、積極性、協調性やコミュニケーション能力等について、対話・口述を通して評価し、将来、研究者あるいは専門職者になるために十分な適性を備えているかを判断するための面接試験を行っています。特に、面接試験は、総合判定の重要な資料とするとともに、評価が低い場合は不合格とすることがあります。

医学系研究科（修士課程）

【1】求める学生像

医学系研究科は、医学・医療の専門分野において、社会の要請に応えうる研究者及び高度専門職者を育成し、学術研究を遂行することにより、医学・医療の発展と地域包括医療（地域社会及び各種の医療関係者が連携し、一丸となって実践する医療）の向上に寄与することを目指します。各専攻の求める学生像は以下の通りです。

■ 医科学専攻

医学部医学科以外の理系・文系4年制大学出身の多様なバックグラウンドを持つ学生を受け入れ、医学の基礎及びその応用法を体系的・集中的に修得させることにより、医学、生命科学、ヒューマンケアなどの包括医療の諸分野において活躍する多彩な専門家を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 医学・医療の分野で、高度専門職業人として社会に貢献したいと考える人
- ② 本修士課程と医学系研究科博士課程とを合わせて研究者を志す人
- ③ 学習と研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
- ④ 本専攻の教育課程で学ぶのに必要な学力・能力を備えた人

■ 看護学専攻

高度の専門性を有する看護職者にふさわしい広い視野に立った豊かな学識と優れた技能を有し、国内及び国際的に看護学の教育、研究、実践の各分野で指導的役割を果たし、看護学の構築に寄与できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 看護学の分野で、研究者、教育者あるいは高度専門職業人として社会に貢献したいと考える人
- ② 看護学領域の大学卒業者又は看護職者として十分な経験や実績を持つ人
- ③ 学習と研鑽を持続するために忍耐強く努力することができる人
- ④ 修士課程での教育プログラムを学ぶための必要な学力・能力を備えた人

【2】入学者選抜の基本方針

医学系研究科の教育・研究理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

○ 医科学専攻

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学院受験資格を有するすべての者を対象とした一般入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、英文読解能力等を問う筆記試験、小論文及び成績証明書によっ

て評価します。また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を有しているかを、口頭試問によって評価します。さらに、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験と志願理由書によって評価します。

社会人特別入試

大学院受験資格を有し、かつ官公庁、教育機関、病院、企業等の実務経験がある者を対象とした社会人特別入試を行います。本大学院で学習するために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を明確な問題意識や研究課題を有しているかを、小論文、口頭試問、業績報告書及び成績証明書によって評価します。また、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を、面接試験と志願理由書によって評価します。

○ 看護学専攻

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学院受験資格を有するすべての者を対象とした一般入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、英文読解能力等を問う筆記試験、小論文及び成績証明書によって評価します。また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を有しているかを、口頭試問によって評価します。さらに、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験と志願理由書によって評価します。

社会人特別入試

大学院受験資格を有し、かつ官公庁、教育機関、病院、企業等の実務経験がある者を対象とした社会人特別入試を行います。本大学院で学習するために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を明確な問題意識や研究課題を有しているかを、小論文、口頭試問、業績報告書及び成績証明書によって評価します。また、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を、面接試験と志願理由書によって評価します。

医学系研究科（修士課程）で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象専攻
知識・理解・思考・判断	大学院で学ぶために必要な汎用的な基礎学力及び専門的な知識	英文読解能力等を問う筆記試験と小論文によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	一般入試	全専攻
		小論文と口頭試問によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	社会人特別入試	
		成績証明書によって、最終出身学校での学業成績、学習態度を評価します。	一般入試 社会人特別入試	全専攻
	専門分野における学習能力や研究遂行能力	口頭試問によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。	一般入試 社会人特別入試	全専攻
		業績報告書によって、これまでの研究実績及び研究内容を評価します。	社会人特別入試	全専攻
興味・関心・意欲	志望専攻で学ぶための明確な志望動機や入学後の意欲	面接試験と志願理由書によって、志望専攻で学ぶ動機、意欲、積極性等を評価します。※	一般入試 社会人特別入試	全専攻

※学力・能力のみならず意欲・適性等を重視した総合評価により選抜を行います。

それぞれの入試において、志望の動機、学習意欲、積極性、協調性やコミュニケーション能力等について対話・口述を通して評価し、将来研究者あるいは専門職者になるために十分な適性を備えているかを判断するための面接試験を行っています。特に、面接試験は、総合判定の重要な資料とするとともに、評価が低い場合は不合格とすることがあります。

I 学生募集要項（博士課程医科学専攻）

1 募集人員

医科学専攻 平成 29 年 10 月入学 若干人（「社会人特別入試」を含みます。）

平成 30 年 4 月入学 25 人（「社会人特別入試」を含みます。）

2 出願資格

一般入試

次の各号のいずれかに該当するものとします。

- (1) 大学の医学，歯学又は修業年限が 6 年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者及び平成 30 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における 18 年の課程（最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者
- (4) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が 5 年以上である課程（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
 - ① 旧大学令による大学の医学又は歯学の学部を卒業した者
 - ② 防衛医科大学校を卒業した者及び平成 30 年 3 月卒業見込みの者
 - ③ 修士課程を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者並びに修士課程の学位の授与を受けることのできる者（外国の課程を含む）
 - ④ 前期 2 年及び後期 3 年の課程の区分を設けない博士課程に 2 年以上在学し，30 単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた者で，大学院または専攻科において，大学の医学，歯学，獣医学または薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると，本学大学院が認めた者

- ⑤ 大学（医学，歯学，獣医学または薬学を履修する課程を除く）を卒業し，または外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後，大学，研究所等において 2 年以上研究に従事した者で，大学院または専攻科において，当該研究の成果等により，大学の医学，歯学，獣医学または薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると，本学大学院が認めた者
- (7) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）に入学した者であって，当該者をその後に入学者とする大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると，本学大学院が認めたもの
- (8) 大学の医学，歯学又は修業年限が 6 年の薬学若しくは獣医学を履修する課程に 4 年以上在学し，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと，本学大学院が認めた者
- (9) 外国において，学校教育における 16 年の課程（最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了し，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと，本学大学院が認めた者
- (10) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程（最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了し，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと，本学大学院が認めた者
- (11) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程（最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと，本学大学院が認めた者
- (12) 大学院において，個別の入学資格審査により，大学の医学，歯学又は修業年限が 6 年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，24 歳に達したもの

社会人特別入試（大学院の修士課程または博士前期課程を修了見込みの者は除く）

出願時，上記の出願資格のいずれかに該当する者で，官公庁，教育機関，病院，企業等の現業に従事し，入学後もその身分を有する予定の者とします。

※平成 29 年 10 月入学については，出願資格中「平成 30 年 3 月卒業（修了）見込みの者」とあるのは，「平成 29 年 9 月卒業（修了）見込みの者」と読み替えてください。

※出願資格 (6) ④・⑤，(7) ～ (12) で出願する者は，出願に先立ち，個別の入学資格審査を受ける必要があります。「4 個別の入学資格審査」の項を参照の上申請してください。

3 出 願 手 続

(1) 指導教員との事前相談

出願の手続きをする前に、研究指導を希望する教員と連絡を取り、入学後の研究内容などについて相談を行い、志望する指導教員を決めてください。

本冊子 18～21 ページ、指導教員一覧のメールアドレスに連絡してください。

(2) 出 願 期 間

平成29年10月入学	平成29年7月26日(水)～
平成30年4月入学(1次募集)	平成29年8月1日(火)9時から17時まで
平成30年4月入学(2次募集)	平成29年11月8日(水)～ 平成29年11月15日(水)9時から17時まで

※ 土・日曜日、祝日は受付を行いません。

郵送(書留郵便)による場合も最終受付日は17時までに必着とします。

(3) 提 出 先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課

(4) 出 願 書 類 (*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。)

出 願 書 類	摘 要	出 願 者	
		一 般 入 試	社会人 特 別 入 試
入 学 検 定 料 30,000 円	*検定料振込依頼書(様式院9-1)を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 (注)本学において平成30年3月(平成29年10月入学については、平成29年9月)に修士・博士前期課程を修了見込みの者は不要です。	○	○
*検定料振込証明台紙 (様式院9-2)	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。 ※入学検定料が不要な者も、必要事項を記入のうえ提出してください。	○	○
*入 学 願 書 (様式院1-1) 留学生用(様式院2-1)	写真は、出願前3か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向、縦3.5cm×横3cmのものを所定の欄に貼り付けてください。	○	○
*履 歴 書 (様式院1-2) 留学生用(様式院2-2)	所要事項を記入してください。	○	○
*受験票・写真票 (様式院3-1, 3-2)	写真は、出願前3か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向、縦3.5cm×横3cmのものを所定の欄に貼り付けてください。	○	○

出願書類	摘 要	出 願 者	
		一 般 入 試	社会人 特 別 入 試
成績証明書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの。 ※大学院修士，博士前期課程又は専門職大学院を修了及び修了見込みの者は，当該研究科の長が作成し，厳封したものを提出してください。 ※姓が変わられた方は，旧姓を証明できるもの（戸籍抄本等）を併せて提出してください。	○	○
卒業（修了）証明書等 または学位証明書	卒業（修了）証明書または見込証明書 ※卒業（修了）見込みで受験した者は，卒業（修了）後速やかに卒業（修了）証明書を提出してください。	○	○
*志願理由書 （様式院 4）	希望する研究の概要（在職中の者は実務の概要を含む。）など志願の理由を 1,000 字程度でまとめたもの。	○	○
「住民票」または「在留カード」の写し	日本国籍を有しない者で，現に日本国内に在住しているときは，市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください（在留カードの表裏両面の写しでも可） 出願時に日本国内に在住していない者は，パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。	該当者	該当者
*業績報告書 （様式院 5）	研究発表，論文，著書等があれば，題名，掲載誌名，巻・号，発表年月を記入し，業績内容を示すもの（論文等の別刷または写し）を提出してください。		○
*受験承認書 （様式院 6）	○大学院に在学中の者（修了見込みの者を除く。）は，大学院研究科長等の受験承認書を提出してください。 ○官公庁，教育機関，病院，企業等に在職中の者は，所属長の受験承認書を提出してください。	該当者	○
*住 所 届 （様式院 10）	必要事項を自筆で記入してください。	○	○
*受験票送付用封筒	長形 3 号の封筒に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入のうえ，362 円切手（速達）を貼り付けてください。（「受験票送付用封筒ラベル」を使用すること）	○	○

（注） 下記の場合は出願を受理しません。

- ① 検定料が振り込まれていない場合（「C票 検定料振込証明書」に出納印がない場合）
- ② 振り込み済の「C票 検定料振込証明書」が検定料振込証明台紙に貼り付けられていない場合

※出願書類を**受理した後**は，振り込み済の**検定料は返還いたしません**。

次の場合は，**検定料の返還請求ができます**ので，必ず手続きをしてください。

- ① 検定料を振り込んだが，本学に出願書類を提出しなかった場合
- ② 検定料を振り込み，本学に出願書類を提出したが，受理されなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお，返還請求の方法等については，学務部入試課（0952-28-8178）までお問い合わせください。

○ 熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

2. 申請方法

事前に学務部入試課に連絡し、該当すると判断された者は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

3. 申請書類

(ア)「入学検定料免除申請書」

本学ホームページ「入試案内,募集要項等ダウンロード(<http://www.sao.saga-u.ac.jp/gakubugakububosyuuyoukou.html>)」からダウンロードできます。

(イ)「り災証明書(写し可)」(上記1.①に該当する者)

(ウ)「死亡又は行方不明を証明する書類」(上記1.②に該当する者)

(5) 出願上の留意事項

- ① 入学願書の記入漏れ等がないように十分留意してください。
- ② 一度受理した出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 出願期間後に到着したもの及び出願書類等に不備があるものは受理できません。
- ④ 出願書類等は一括して取りそろえ、出願者が直接出願してください。
- ⑤ 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 本学では、他の大学(学部又は大学院の正規課程)等との二重在籍は認めていません。出願時に大学院に在学のまま受験した者は、入学後、退学証明書を医学部学生課へ提出する必要があります。

4 個別の入学資格審査

出願資格(6)④・⑤, (7)～(12)により出願しようとする者については、事前に
出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので、関係書類を次により提出してください。

なお、1次募集における本研究科の審査で出願資格を認定された者は、2次募集に出願する場合、あらためて入学資格審査を申請する必要はありません。

(注) 外国の学校の卒業者は入学資格審査を要する場合がありますので、事前に佐賀大学医学部学生課入試担当(0952-34-3130)に問い合わせてください。

(1) 提出書類（*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。）

出願書類	摘 要	出 願 資 格			
		(6)⑤	(6)④ (7) (8)	(9) (10) (11)	(12)
*入学資格個別審査願 (様式院 7)		○	○	○	○
成績証明書	最終出身学校の長が証明したもの	○	○	○	○
卒業（修了）証明書	最終出身学校の長が証明したもの ※外国の学校教育における16年の課程を修了した者は、修了証明書	○		○	○
研究（在職）期間 証明書	研究（在職）時の職名、期間を証明することのできる書類（様式自由）	○			
*志願理由書 (様式院 4)	希望する研究の概要（在職中の者は実務の概要を含む。）など志願の理由を1000字程度でまとめたもの	○	○	○	○
*業績報告書 (様式院 5)	研究発表、論文、著書等の題名、掲載誌名、巻・号、発表年月を記入し、業績内容を示すもの（論文等の別刷または写し）を提出してください。	○			○
在学証明書（在学 年次が明記されて いるもの）	出身学校の長が証明したもの		○		

※ 各種証明書に記載された姓から変わられた方は、旧姓を証明できるもの（戸籍抄本等）を併せて提出してください。

(2) 提出期限

平成29年10月入学	平成29年7月7日（金）17時まで
平成30年4月入学（1次募集）	
平成30年4月入学（2次募集）	平成29年10月20日（金）17時まで

土・日曜日、祝日は受付を行いません。郵送（書留郵便）による場合は、封筒の表に「入学資格個別審査願在中」と朱書きし、上記同時刻までに必着するよう発送してください。

(3) 提出先

佐賀大学医学部学生課入試担当

〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号

(4) 認定の結果

平成29年10月入学	平成29年7月24日（月）までに、本人に通知します。
平成30年4月入学（1次募集）	
平成30年4月入学（2次募集）	平成29年11月6日（月）までに、本人に通知します。

5 入学者選抜方法

(1) 選抜の方法

- ① 一般入試 筆記試験（英語）、面接及び口頭試問ならびに成績証明書等の結果を総合して判定します。
- ② 社会人特別入試 筆記試験（英語）、面接及び口頭試問ならびに成績証明書等の結果を社会人特別入試の観点で総合的に判定します。

(2) 試験の日時等

期 日	実施項目	実施時間	備 考
平成 29 年 10 月入学 平成 30 年 4 月入学（1 次募集） 平成 29 年 9 月 5 日（火）	筆記試験（英語）	10：30～ 12：00	「辞書」の持込み可とし「電子辞書」は不可とします。
平成 30 年 4 月入学（2 次募集） 平成 29 年 12 月 12 日（火）	面接及び口頭試問	13：00～	主として志望する分野について行います。

（注）受験者は、10時10分までに佐賀大学医学部（鍋島キャンパス）に集合してください。

6 合格者の発表及び通知

本学ホームページ（<http://www.sao.saga-u.ac.jp/>）に10時から合格者の受験番号を発表するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による合否に関する問い合わせには一切応じかねます。

平成 29 年 10 月入学	平成 29 年 9 月 25 日（月）
平成 30 年 4 月入学（1 次募集）	
平成 30 年 4 月入学（2 次募集）	平成 29 年 12 月 27 日（水）

※ 入学手続については本冊子 50 ページ「共通事項」を確認してください。

II 博士課程医科学専攻案内

1 博士課程医科学専攻の教育目的

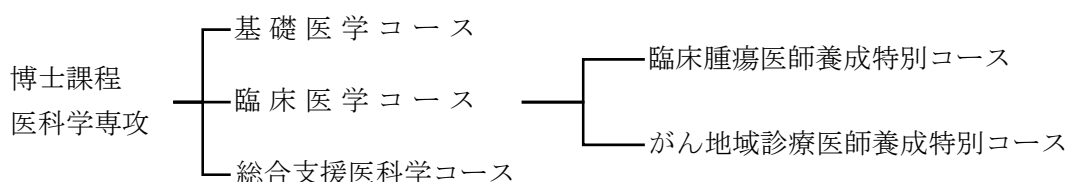
医学・医療の領域において、自立して独創的研究活動を遂行するために必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識と優れた技術を有し、教育・研究・医療の各分野で指導的役割を担う人材を育成します。

2 学 位

博士課程医科学専攻で取得できる学位は博士（医学）です。

3 教育・研究指導

博士課程医科学専攻は、医学・医療の専門分野において、社会の要請に応えうる多様な研究者および高度専門職者を育成するため、その育成する人材像に応じて、「基礎医学コース」、「臨床医学コース」、「総合支援医科学コース」の3つのカリキュラムコースで教育課程が編成されています。



〔基礎医学コース〕

医学・生命科学等の領域で自立した研究者・指導者として活躍する人材を育成することを目的とし、そのための幅広い専門的知識と研究に必要な技術や実験デザインなどの研究遂行能力を修得します。

〔臨床医学コース〕

研究マインドを備えた臨床医学等の高度専門職者を育成することを目的とし、病態学、診断・治療学、手術技法、統計解析など臨床医学や社会医学の高度な専門的知識・技能・態度ならびに主として患者を対象とする臨床研究の遂行能力を修得します。

このコースは、臨床専門分野ごとのサブコースで構成されていますが、さらに〔臨床腫瘍医師養成特別コース〕を履修することより、日本臨床腫瘍学会の認定資格「がん薬物療法専門医」の取得を目指すことができます（24 ページ参照）。また、地域基幹病院等を中心とする地域がん医療のネットワーク形成にあたり、中核的役割を果たすことができる医師を養成する〔がん地域診療医師養成特別コース〕もあります（24 ページ参照）。

〔総合支援医科学コース〕

総合的ケアなど医療関連の研究・実践能力を備え、包括医療のなかで活躍する高度専門職者を育成することを目的とし、そのための幅広い専門的知識と技術ならびに研究・実践

デザインなどの研究・実践遂行能力を修得します。

各コースでは、各自の目的に応じた個別の履修計画を策定し、専門的知識、自立して研究を行うために必要な研究手法や研究遂行能力、医学・生命科学研究者や医療専門職者として必要な倫理観やコミュニケーション能力などの基礎的な素養ならびに各自の専門性を深めるための科目を選択履修します。

また、国内外の学会・研究会等に積極的に参加し、幅広い視野と成果を発信する能力を育てます。

研究指導では、新しい事柄の発見や問題解決を行うための能力と技術を身につけるため、研究実習や医療現場での実習を重視し、指導教員による個別研究指導を基本方針としています。個別の研究指導は、学生ごとに主指導教員1人、副指導教員1～2人を置き、主指導教員とその研究グループのスタッフが協力して指導する体制になっており、入学時に指導教員と学生とが相談のうえ個別の履修計画及び研究計画を策定し、学生のニーズに即した研究指導を行っています。

4 指導教員一覧

出願の手続きをする前に、入学後の教育・研究内容などについて、研究指導を希望する教員と相談を行うことになっています。医学系研究科ホームページ (<http://www.gsmed.saga-u.ac.jp/index.html>) を参考に、希望する指導教員を決めてください。

講 座	職 名	氏 名	メールアドレス
分 子 生 命 科 学	教 授	副 島 英 伸	soejimah@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	出 原 賢 治	kizuhara@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	吉 田 裕 樹	yoshidah@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	池 田 義 孝	yikeda@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	※ 城 圭 一 郎	joh@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	三 宅 靖 延	ymiyake@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	井 原 秀 之	iharah@cc.saga-u.ac.jp
生 体 構 造 機 能 学	教 授	倉 岡 晃 夫	kura@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	城 戸 瑞 穂	kido@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	寺 本 憲 功	noritera@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	村 田 祐 造	murata@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	藤 田 亜 美	fujitat@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	鬼 頭 佳 彦	ykito@cc.saga-u.ac.jp
病 因 病 態 科 学	教 授	相 島 慎 一	saish@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	戸 田 修 二	todas@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	宮 本 比 呂 志	miyamoth@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	青 木 茂 久	aokis@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	久 木 田 明 子	kukita@cc.saga-u.ac.jp

講 座	職 名	氏 名	メールアドレス
社 会 医 学	教 授	田 中 恵 太 郎	tanakake@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	市 場 正 良	ichiba@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	原 め ぐ み	harameg@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	小 山 宏 義	koyama@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	高 野 吾 朗	takanog@cc.saga-u.ac.jp
内 科 学	教 授	原 英 夫	hihara@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	木 村 晋 也	shkimu@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	野 出 孝 一	node@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	藤 本 一 眞	fujimotk@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	安 西 慶 三	akeizo@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	成 澤 寛	narisawa@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	多 田 芳 史	taday@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	荒 金 尚 子	sueokan@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	小 島 研 介	kkojima@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	挽 地 裕	hikichi@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	池 田 裕 次	ikedayuu@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	井 上 卓 也	inouetak@cc.saga-u.ac.jp
精 神 医 学	教 授	門 司 晃	amonji@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	溝 口 義 人	ymizo@cc.saga-u.ac.jp
小 児 科 学	教 授	松 尾 宗 明	matsuo@cc.saga-u.ac.jp
一般・消化器外科学	教 授	能 城 浩 和	noshiro@cc.saga-u.ac.jp
胸部・心臓血管外科学	准教授	古 川 浩 二 郎	furukako@cc.saga-u.ac.jp
整 形 外 科 学	教 授	馬 渡 正 明	mawatam@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	園 畑 素 樹	sonohata@cc.saga-u.ac.jp
脳 神 経 外 科 学	教 授	阿 部 竜 也	abet@cc.saga-u.ac.jp
泌 尿 器 科 学	教 授	野 口 満	nogman@cc.saga-u.ac.jp
産 婦 人 科 学	教 授	横 山 正 俊	yokoyam1@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	中 尾 佳 史	nakaoy@cc.saga-u.ac.jp
眼 科 学	教 授	江 内 田 寛	enaida@cc.saga-u.ac.jp
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教 授	倉 富 勇 一 郎	kuratomy@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	島 津 倫 太 郎	shimazu@cc.saga-u.ac.jp
放 射 線 医 学	教 授	入 江 裕 之	irie@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	水 口 昌 伸	mizuguch@cc.saga-u.ac.jp
麻 酔 ・ 蘇 生 学	教 授	坂 口 嘉 郎	yoshiro@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	平 川 奈 緒 美	hirakan@cc.saga-u.ac.jp
歯 科 口 腔 外 科 学	教 授	山 下 佳 雄	yamashy2@cc.saga-u.ac.jp

講 座	職 名	氏 名	メールアドレス
臨 床 検 査 医 学	教 授	末 岡 榮 三 朗	sueokae@cc.saga-u.ac.jp
救 急 医 学	教 授	阪 本 雄 一 郎	sakamoy@cc.saga-u.ac.jp
国 際 医 療 学	教 授	青 木 洋 介	aokiy3@cc.saga-u.ac.jp
医 療 連 携 シ ス テ ム 部 門	教 授	川 口 淳	akawa@cc.saga-u.ac.jp
	准 教 授	富 永 広 貴	hirotaka@cc.saga-u.ac.jp
福 祉 健 康 科 学 部 門	教 授	堀 川 悦 夫	ethori@cc.saga-u.ac.jp
地 域 包 括 医 療 教 育 部 門	教 授	小 田 康 友	oday@cc.saga-u.ac.jp
	准 教 授	坂 本 麻 衣 子	masaka@cc.saga-u.ac.jp
統 合 基 礎 看 護 学	教 授	河 野 史	kawanoh@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	藤 野 成 美	fujinon@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	新 地 浩 一	shinchik@cc.saga-u.ac.jp
生 涯 発 達 看 護 学	教 授	佐 藤 珠 美	tsatoh@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	鈴 木 智 恵 子	chiekosu@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	古 賀 明 美	kogaake@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	田 淵 康 子	ytabuchi@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	有 吉 浩 美	ariyoshi@cc.saga-u.ac.jp
手 術 部	准 教 授	高 松 千 洋	ctaka@cc.saga-u.ac.jp
放 射 線 部	准 教 授	中 園 貴 彦	nakazot@cc.saga-u.ac.jp
総 合 診 療 部	教 授	山 下 秀 一	syama@cc.saga-u.ac.jp
病 理 部	准 教 授	甲 斐 敬 太	kaikeit@cc.saga-u.ac.jp
医 療 情 報 部	准 教 授	高 崎 光 浩	takasaki@cc.saga-u.ac.jp
薬 剤 部	教 授	※ 藤 戸 博	fujito@cc.saga-u.ac.jp
先 進 総 合 機 能 回 復 セ ン タ ー	准 教 授	浅 見 豊 子	asamit@cc.saga-u.ac.jp
卒 後 臨 床 研 修 セ ン タ ー	准 教 授	江 村 正	emura@cc.saga-u.ac.jp
	准 教 授	吉 田 和 代	yoshidak@cc.saga-u.ac.jp
形 成 外 科	准 教 授	上 村 哲 司	uemurat@cc.saga-u.ac.jp
循 環 制 御 学	教 授 (寄 附)	尾 山 純 一	junoyama@cc.saga-u.ac.jp
心 不 全 治 療 学	准 教 授 (寄 附)	琴 岡 憲 彦	kotooka@cc.saga-u.ac.jp
地 域 医 療 支 援 学	教 授 (寄 附)	杉 岡 隆	sugioka@cc.saga-u.ac.jp
肝 疾 患 セ ン タ ー	教 授	江 口 有 一 郎	eguchiyu@cc.saga-u.ac.jp
先 進 外 傷 治 療 学	教 授 (寄 附)	井 上 聡	manatama@cc.saga-u.ac.jp
臓 器 相 関 情 報	教 授 (寄 附)	長 尾 由 実 子	nagaoyu@cc.saga-u.ac.jp

講 座	職 名	氏 名	メールアドレス
臓器再生医工学	教授 (寄附)	中山 功 一	koichi77@cc.saga-u.ac.jp
総合分析実験センター (生物資源開発部門)	准教授	北 嶋 修 司	kitajims@cc.saga-u.ac.jp
総合分析実験センター (機器分析部門)	准教授	寺 東 宏 明	terato@cc.saga-u.ac.jp
保健管理センター	教授	佐 藤 武	satot@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	尾 崎 岩 太	ozaki@cc.saga-u.ac.jp
全学教育機構	准教授	福 留 健 司	fukudome@cc.saga-u.ac.jp
教育学部	准教授	山 津 幸 司	kyamatsu@cc.saga-u.ac.jp

注) ※印が付されている指導教員は平成30年3月定年退職予定

5 授 業 科 目 (平成29年度入学者)

区 分	授 業 科 目	授 業 を 行う年次	単 位 数			備 考
			講義	演習	実習	
コース必修科目	基礎医学 基礎医学研究法 基礎医学研究実習	1～3 1～3	2		1 2	いずれか1つのコース区分14単位を修得すること。 〔臨床腫瘍医師養成特別コース〕, 〔がん地域診療医師養成特別コース〕は「臨床医学コース」を選択すること。)
	臨床医学 臨床医学研究法 臨床医学研究実習	1～3 1～3	2		1 2	
	総合支援 総合支援医科学研究法 総合支援医科学研究実習	1～3 1～3	2		1 2	
共通選択必修科目Ⅰ	生命科学・医療倫理	1・2	2			「生命科学・医療倫理」を含めて4単位以上を修得すること。
	アカデミックスピーキング	1・2	2			
	アカデミックライティング	1・2	2			
	プレゼンテーション技法	1・2	2			
	情報リテラシー	1・2	2			
	患者医師関係論	1・2	2			
	医療教育 医療法制	1・2 1・2	2 2			

区分	授業科目	授業を行う年次	単位数			備考
			講義	演習	実習	
共通選択必修科目Ⅱ	分子生物学の実験法	1・2		2		コースワークに沿って4単位以上を修得すること。
	画像処理・解析法	1・2		2		
	疫学・調査実験法	1・2		2		
	組織・細胞培養法	1・2		2		
	組織・細胞観察法	1・2		2		
	行動実験法	1・2		2		
	免疫学の実験法	1・2		2		
	機器分析法	1・2		2		
	データ処理・解析法	1・2		2		
	電気生理学の実験法	1・2		2		
	動物実験法	1・2		2		
	アイソトープ実験法	1・2		2		
共通選択必修科目Ⅲ	解剖・組織学特論	1・2		2		コースワークに沿って4単位以上を修得すること 共通選択必修科目Ⅰ，Ⅱ，Ⅲから計16単位以上を修得すること。
	生理学特論	1・2		2		
	神経科学特論	1・2		2		
	生命科学特論	1・2		2		
	分子生物学特論	1・2		2		
	微生物感染学特論	1・2		2		
	免疫学特論	1・2		2		
	病理学特論	1・2		2		
	薬理学特論	1・2		2		
	発生・遺伝子工学	1・2		2		
	基礎腫瘍学	1・2		2		
	形質人類学	1・2		2		
	環境医学特論	1・2		2		
	予防医学特論	1・2		2		
	法医学特論	1・2		2		
	臨床病態学特論	1・2		2		
	臨床診断・治療学	1・2		2		
	臨床局所解剖学	1・2		2		
	人工臓器	1・2		2		
	臨床微生物学	1・2		2		
法医中毒論	1・2		2			
臨床腫瘍学	1・2		2			
臨床遺伝学	1・2		2			
薬物動態論	1・2		2			

区 分	授 業 科 目	授 業 を 行 う 年 次	単 位 数			備 考
			講 義	演 習	実 習	
共 通 選 択 必 修 科 目 Ⅲ	映像診断学	1・2		2		
	老年医学	1・2		2		
	病理診断学	1・2		2		
	地域医療特論	1・2		2		
	健康行動科学	1・2		2		
	社会生活行動支援	1・2		2		
	周産期医学	1・2		2		
	リハビリテーション医学	1・2		2		
	アクセシビリティ特論	1・2		2		
	国際保健・災害医療	1・2		2		
	医療情報システム論	1・2		2		
	認知神経心理学	1・2		2		
	看護援助学特論	1・2		2		
	緩和ケア科学特論	1・2		2		
医療・介護事故とヒューマンエラー	1・2		2			

6 履 修 方 法

博士課程医科学専攻においては、入学後に指導教員の助言の下に、各自の希望する進路及び修学目的に適合した履修コースを決め、それに基づいて各自の学習目標や研究テーマ等に即した博士課程4年間の履修計画を立てます。

授業科目は、次の区分で構成されています。

[コース必修科目]：各コースの目的に沿って、自立して研究を行うために必要な研究デザインの理論を学ぶ「研究法」と実践的に修練する「研究実習」の二つの科目からなる必修科目です。

[共通選択必修科目Ⅰ]：各コースに共通あるいは関連する基礎的素養を涵養するための科目群で、2科目以上を選択履修します。

[共通選択必修科目Ⅱ]：コース及び各自の目的に沿った専門的技術を修得するための科目群で、2科目以上を選択履修します。

[共通選択必修科目Ⅲ]：コース及び各自の目的に沿って専門分野の理解を深め、あるいは幅広い知識を修得するための科目群で、2科目以上を選択履修します。

「コース必修科目」の2科目・14単位と、「共通選択必修科目」全体で8科目・16単位以上（共通選択必修科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから各2科目・4単位、計6科目・12単位を含む）、合計30単位以上を履修し、各自の目的と専門性に応じた研究活動を遂行するのに必要な豊かな学識と優れた技術を修得します。

7 修了の要件

博士課程を修了するためには、大学院に4年以上在学し、前項の授業科目30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとしています。

*** 臨床腫瘍医師養成特別コース ***

1) コースの目標

このコースは、〔臨床医学コース〕の特別コースとして、博士課程の学位とともに日本臨床腫瘍学会の認定資格「がん薬物療法専門医」の取得を目指すもので、資格の取得に必要なカリキュラムを履修し、がん医療に携わる専門医師としての能力を身につけます。また、研究を遂行するために必要な能力・方法等を各自のテーマに沿った研究の実践を通して学び、自立してがん治療に関する臨床研究を行う素養を身につけます。

具体的には、下記のとおりです。

- ① 臨床腫瘍学会研修認定施設において臨床腫瘍学会所定の研修カリキュラムに従い、2年以上の臨床研究を行う。
- ② 臨床腫瘍学に関連した論文1編、臨床腫瘍学会発表1編を発表する。
- ③ 各科の基本となる学会の認定医・専門医資格を取得する。

2) 授業科目

本学大学院医学系研究科のホームページでご確認ください。

https://www.gab.med.saga-u.ac.jp/daigakuin/hp/doctor_medical/2download/1.pdf

*** がん地域診療医師養成特別コース ***

1) コースの目標

このコースは、〔臨床医学コース〕の特別コースとして、博士課程の学位とともに、地域基幹病院などを中心とする地域がん医療ネットワーク形成にあたり、中核的役割を果たすために、がん医療に携わる専門医師としての能力を身につけます。さらに各自の研究テーマに沿って、研究を遂行するのに必要な能力、方法等を研究の実践を通して学び、自立してがん治療に関する臨床研究を行う素養を身につけます。

具体的には、下記のとおりです。

- ① 地域基幹病院においてがん治療研修を行うとともに、2年以上の臨床研究を行う。
- ② 臨床腫瘍学に関連した論文1編を発表する。
- ③ 各科の基本となる学会の認定医・専門医資格を取得する。

2) 授業科目

本学大学院医学系研究科のホームページでご確認ください。

https://www.gab.med.saga-u.ac.jp/daigakuin/hp/doctor_medical/2download/1.pdf

Ⅲ 学生募集要項(修士課程医科学専攻)

1 募集人員

医科学専攻 平成 29 年 10 月入学 若干人（「社会人特別入試」を含みます。）
平成 30 年 4 月入学 15 人（「社会人特別入試」を含みます。）

2 出願資格

一般入試

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成 30 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で 文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者で、本学大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた者
- (11) 外国において、学校教育における 15 年の課程を修了し、本学大学院において、所

定の単位を優秀な成績で修得したと認めた者

- (12) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた者
- (13) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた者
- (14) 大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

社会人特別入試

上記の出願資格のいずれかに該当する者で、官公庁、教育機関、病院、企業等の現業に従事し、平成30年4月1日現在（平成29年10月入学については、平成29年10月1日現在）で、社会人として3年以上の実務経験を有する者とします。

※平成29年10月入学については、出願資格中「平成30年3月卒業（修了）見込みの者」とあるのは、「平成29年9月卒業（修了）見込みの者」と読み替えてください。

※上記(14)は短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校等の卒業生(修了者)等を示す。

※出願資格(9)～(14)で出願する者は、出願に先立ち、個別の入学資格審査を受ける必要があります。「4 個別の入学資格審査」の項を参照の上申請してください。

3 出願手続

(1) 指導教員との事前相談

修士課程では、授業による学習に加えて、希望する研究室に所属して研究指導を受けることに重点が置かれています。出願の手続きをする前に、研究指導を希望する教員と連絡を取り、入学後の研究内容などについて相談を行い、志望する指導教員を決めてください。本冊子33～36ページ、指導教員一覧のメールアドレスに連絡してください。

(2) 出願期間

平成29年10月入学	平成29年7月26日(水)～
平成30年4月入学(1次募集)	平成29年8月1日(火)9時から17時まで
平成30年4月入学(2次募集)	平成29年11月8日(水)～ 平成29年11月15日(水)9時から17時まで

※ 土・日曜日、祝日は受付を行いません。

郵送（書留郵便）による場合も最終受付日は17時までに必着とします。

(3) 提出先

〒840 - 8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課

(4) 出願書類（*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。）

出 願 書 類	摘 要	出 願 者	
		一 般 入 試	社会人 特 別 入 試
入 学 検 定 料 30,000 円	*検定料振込依頼書（様式院9-1）を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 （注）	○	○
*検定料振込証明台紙 （様式院9-2）	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。 ※入学検定料が不要な者も、必要事項を記入のうえ提出してください。	○	○
*入 学 願 書 （様式院1-1） 留学生用（様式院2-1）	写真は、出願前3か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向、縦3.5cm×横3cmのものを所定の欄に貼り付けてください。	○	○
*履 歴 書 （様式院1-2） 留学生用（様式院2-2）	所要事項を記入してください。	○	○
*受験票・写真票 （様式院3-1, 3-2）	写真は、出願前3か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向、縦3.5cm×横3cmのものを所定の欄に貼り付けてください。	○	○
成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの。 ※姓が変わられた方は、旧姓を証明できるもの（戸籍抄本等）を併せて提出してください。	○	○
卒業（修了）証明書等	卒業（修了）証明書または見込証明書 ※卒業（修了）見込みで受験した者は、卒業（修了）後速やかに卒業（修了）証明書を提出してください。	○	○
*志 願 理 由 書 （様式院4）	希望する研究の概要（在職中の者は実務の概要を含む。）など志願の理由を1,000字程度でまとめたもの。	○	○
学位授与証明書 （又は学位授与申請 を受理した旨の証明書）	出願資格（2）に該当する者で大学評価・学位授与機構が証明したもの。（なお、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業（修了）見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。）	該当者	該当者
「住民票」または「在留カード」の写し	日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください（在留カードの表裏両面の写しでも可） 出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。	該当者	該当者

出願書類	摘 要	出 願 者	
		一 般 入 試	社会人 特 別 入 試
在職期間証明書	平成30年4月1日現在(平成29年10月入学については、平成29年10月1日現在)で現職を含めて3年以上の実務経験を有することが確認できる書類(様式自由)		○
*業績報告書 (様式院5)	研究発表, 論文, 著書等があれば, 題名, 掲載誌名, 巻・号, 発表年月を記入し, 業績内容を示すもの(論文等の別刷または写し)を提出してください。		○
*受験承認書 (様式院6)	官公庁, 教育機関, 病院, 企業等に在職中の者は, 所属長の受験承認書を提出してください。	該当者	○
*住 所 届 (様式院10)	必要事項を自筆で記入してください。	○	○
*受験票送付用封筒	長形3号の封筒に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入のうえ, 362円切手(速達)を貼り付けてください。「受験票返信用封筒ラベル」を使用すること	○	○

(注) 下記の場合は出願を受理しません。

- ① 検定料が振り込まれていない場合(「C票 検定料振込証明書」に出納印がない場合)
- ② 振り込み済の「C票 検定料振込証明書」が検定料振込証明台紙に貼り付けられていない場合

*出願書類を受理した後は, 振り込み済の検定料は返還いたしません。

次の場合は, 検定料の返還請求ができますので, 必ず手続きをしてください。

- ① 検定料を振り込んだが, 本学に出願書類を提出しなかった場合
- ② 検定料を振り込み, 本学に出願書類を提出したが, 受理されなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお, 返還請求の方法等については, 学務部入試課(0952-28-8178)までお問い合わせください。

○ 熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは, 次に該当する者です。

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊, 大規模半壊, 半壊, 流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

2. 申請方法

事前に学務部入試課に連絡し, 該当すると判断された者は, 所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

3. 申請書類

(ア)「入学検定料免除申請書」

本学ホームページ「入試案内,募集要項等ダウンロード(<http://www.sao.saga-u.ac.jp/gakubugakububosyuuyoukou.html>)」からダウンロードできます。

(イ)「り災証明書(写し可)」(上記1.①に該当する者)

(ウ)「死亡又は行方不明を証明する書類」(上記1.②に該当する者)

(5) 出願上の留意事項

- ① 入学願書の記入漏れ等がないよう十分留意してください。
- ② 一度受理した出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 出願期間後に到着したもの及び出願書類等に不備があるものは受理できません。
- ④ 出願書類等は一括して取りそろえ、出願者が直接出願してください。
- ⑤ 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 本学では、他の大学(学部又は大学院の正規課程)等との二重在籍は認めていません。出願時に大学院に在学のまま受験した者は、入学後、退学証明書を医学部学生課へ提出する必要があります。

4 個別の入学資格審査

出願資格(9)～(14)により出願しようとする者については、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので、関係書類を次により提出してください。

なお、1次募集における本研究科の審査で出願資格を認定された者は、2次募集に出願する場合、あらためて入学資格審査を申請する必要はありません。

(注) 外国の学校の卒業者は入学資格審査を要する場合がありますので、事前に佐賀大学医学部学生課入試担当(0952-34-3130)に問い合わせてください。

(1) 提出書類(*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。)

出 願 書 類	摘 要	出 願 資 格		
		(9) (10)	(11) (12) (13)	(14)
*入学資格個別審査願 (様式院 7)		○	○	○
*志願理由書 (様式院 4)	希望する研究の概要(在職中の者は実務の概要を含む。)など志願の理由を1000字程度でまとめたもの	○	○	○
*業績報告書 (様式院 5)	研究発表,論文,著書等の題名,掲載誌名,巻・号,発表年月を記入し,業績内容を示すもの(論文等の別刷または写し)を提出してください。			○

卒業（修了）証明書	短期大学，専修学校，各種学校等の卒業（修了）証明書または見込証明書 ※外国の学校教育における15年の課程を修了した者は，修了証明書		○	○
在学証明書（在学年次が明記されているもの）	出身学校の長が証明したもの	○		
成績証明書	最終出身学校の長が証明したもの	○	○	

※ 各種証明書に記載された姓から変わられた方は，旧姓を証明できるもの（戸籍抄本等）を併せて提出してください。

（2）提出期限

平成29年10月入学	平成29年7月7日（金）17時まで
平成30年4月入学（1次募集）	
平成30年4月入学（2次募集）	平成29年10月20日（金）17時まで

土・日曜日，祝日は受付を行いません。郵送（書留郵便）による場合は，封筒の表に「入学資格個別審査願在中」と朱書きし，上記同時刻までに必着するよう発送してください。

（3）提出先

佐賀大学医学部学生課入試担当
〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号

（4）認定の結果

平成29年10月入学	平成29年7月24日（月）までに，本人に通知します。
平成30年4月入学（1次募集）	
平成30年4月入学（2次募集）	平成29年11月6日（月）までに，本人に通知します。

5 入学者選抜方法

（1）選抜の方法

- ① 一般入試 筆記試験（英語），小論文，面接及び口頭試問ならびに成績証明書等の結果を総合して判定します。
- ② 社会人特別入試 小論文，面接及び口頭試問，志願理由書，業績報告書ならびに成績証明書等の結果を総合して判定します。

(2) 試験の日時等

期 日	実施項目	実施時間	備 考	一 般	社 会 人
平成 29 年 10 月入学 平成 30 年 4 月入学 (1 次募集) 平成 29 年 9 月 5 日 (火)	筆記試験 (英語)	9 : 30 ~ 10 : 30	「辞書」の持込み 可とし「電子辞書」 は不可とします。	○	
平成 30 年 4 月入学 (2 次募集) 平成 29 年 12 月 12 日 (火)	小論文	11 : 00 ~ 12 : 00	分野別の複数の課 題の中から選択	○	○
	面接及び 口頭試問	13 : 00 ~	主として志望する 分野について行い ます。	○	○

(注) 受験者は、各自が受験する科目の開始時刻 20 分前までに佐賀大学医学部 (鍋島キャンパス) に集合してください。

6 合格者の発表及び通知

本学ホームページ (<http://www.sao.saga-u.ac.jp/>) に 10 時から合格者の受験番号を発表するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による合否に関する問い合わせには一切応じかねます。

平成 29 年 10 月入学	平成 29 年 9 月 25 日 (月)
平成 30 年 4 月入学 (1 次募集)	
平成 30 年 4 月入学 (2 次募集)	平成 29 年 12 月 27 日 (水)

※ 入学手続については本冊子 50 ページ「共通事項」を確認してください。

IV 修士課程医科学専攻案内

1 修士課程医科学専攻の教育目的

近年の医学・医療の進歩は目覚ましく、20世紀半ばには夢物語でしかなかった臓器移植・臓器再生、遺伝子治療、ロボット治療、ゲノム創薬などが実現あるいは実現可能となってきています。さらに、21世紀の日本は本格的な少子高齢化社会に入り、医療・健康に関する人々の要求はますます高まることが予想され、患者や高齢者の介護と福祉、脳死、認知症、移植臓器提供、生殖医療、クローン技術、難治感染症、医療経済など医学的のみならず倫理的・社会的に複雑多岐にわたる問題を提起しています。医学医療をさらに発展させると同時に、上述の諸課題の対処解決に当たるためには、医学的知識技術と共に医学以外のさまざまな分野における学際的な知識技術を有する高度専門職者・研究者・教育者を育成することが喫緊かつ必須なものとなっています。

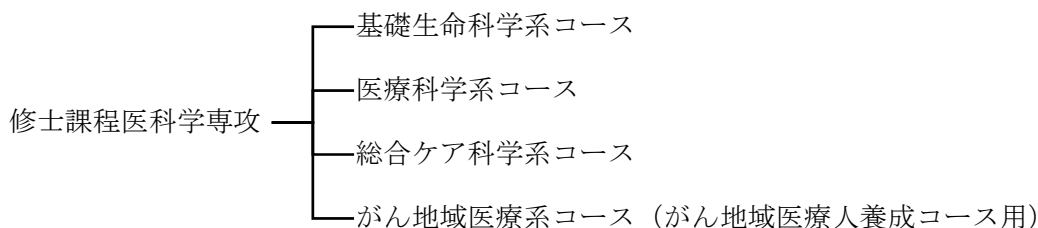
本修士課程医科学専攻は、医学部医学科以外の理系・文系4年制大学学部出身の多様なバックグラウンドを持つ学生を受け入れ、医学の基礎及びその応用法を体系的・集中的に修得させることにより、医学、生命科学、ヒューマンケアなど包括医療の諸分野において活躍する多彩な専門家の育成を目的とするものです。

2 学 位

修士課程医科学専攻で取得できる学位は修士（医科学）です。

3 教育・研究指導

修士課程医科学専攻では、医学、生命科学、ヒューマンケアなど包括医療の諸分野において活躍する多彩な専門家を育成するため、「基礎生命科学系コース」、「医療科学系コース」、「総合ケア科学系コース」の3つのカリキュラムコースで教育課程が編成されています。また、平成25年度からがん地域医療人養成コース用に「がん地域医療系コース」を設けています。



〔基礎生命科学系コース〕

生命科学・基礎医学等の領域で研究者・指導者として活躍する人材を育成することを目的とし、そのための幅広い専門的知識と研究に必要な技術や研究遂行能力を修得します。

〔医療科学系コース〕

医療関連の諸分野で活躍する専門職者や研究者を育成することを目的とし、そのための幅広い専門的知識と医療科学研究に必要な技術や研究遂行能力を修得します。

〔総合ケア科学系コース〕

ヒューマンケアなど包括医療のなかで活躍する専門職者や研究者を育成することを目的とし、そのための幅広い専門的知識と技術ならびに研究・実践遂行能力を修得します。

〔がん地域医療系コース〕

地域基幹病院などを中心とする地域がん医療のネットワーク形成にあたり、中核的医師のサポートをする看護師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士など医療スタッフを養成します。

各コースでは、各自の目的に応じた個別の履修計画を策定し、専門的知識、研究手法や研究遂行能力、医学・生命科学研究者や医療関連専門職者として必要な倫理観やコミュニケーション能力などの基礎的な素養ならびに各自の専門性を深めるための科目を選択履修します。

また、国内外の学会・研究会等に積極的に参加し、幅広い視野と成果を発信する能力を育てます。

研究指導では、新しい事柄の発見や問題解決を行うための能力と技術を身につけるため、研究実習や医療現場での実習を重視し、指導教員による個別研究指導を基本方針としています。個別の研究指導は、学生ごとに主指導教員1人、副指導教員1人を置き、指導教員とその研究グループのスタッフが協力して指導する体制になっており、入学時に指導教員と学生とが相談のうえ個別の履修計画及び研究計画を策定し、学生のニーズに即した研究指導を行っています。

4 指導教員一覧

出願の手続きをする前に、入学後の教育・研究内容などについて、研究指導を希望する教員と相談を行うことになっています。医学系研究科ホームページ (<http://www.gsm.ed.saga-u.ac.jp/index.html>) を参考に、希望する指導教員を決めてください。

講 座	職 名	氏 名	メールアドレス
分 子 生 命 科 学	教 授	副 島 英 伸	soejimah@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	出 原 賢 治	kizuhara@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	吉 田 裕 樹	yoshidah@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	池 田 義 孝	yikeda@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	※城 圭 一 郎	joh@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	三 宅 靖 延	ymiyake@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	井 原 秀 之	iharah@cc.saga-u.ac.jp
生 体 構 造 機 能 学	教 授	倉 岡 晃 夫	kura@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	城 戸 瑞 穂	kido@cc.saga-u.ac.jp
	教 授	寺 本 憲 功	noritera@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	村 田 祐 造	murata@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	藤 田 亜 美	fujitat@cc.saga-u.ac.jp

講 座	職 名	氏 名	メールアドレス
生体構造機能学	准教授	鬼頭佳彦	ykito@cc.saga-u.ac.jp
病因病態科学	教授	相島慎一	saish@cc.saga-u.ac.jp
	教授	戸田修二	todas@cc.saga-u.ac.jp
	教授	宮本比呂志	miyamoth@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	青木茂久	aokis@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	久木田明子	kukita@cc.saga-u.ac.jp
社会医学	教授	田中恵太郎	tanakake@cc.saga-u.ac.jp
	教授	市場正良	ichiba@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	原めぐみ	harameg@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	小山宏義	koyama@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	高野吾朗	takanog@cc.saga-u.ac.jp
内科学	教授	原英夫	hihara@cc.saga-u.ac.jp
	教授	木村晋也	shkimu@cc.saga-u.ac.jp
	教授	野出孝一	node@cc.saga-u.ac.jp
	教授	藤本一真	fujimotk@cc.saga-u.ac.jp
	教授	安西慶三	akeizo@cc.saga-u.ac.jp
	教授	成澤寛	narisawa@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	多田芳史	taday@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	荒金尚子	sueokan@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	小島研介	kkojima@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	挽地裕	hikichi@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	池田裕次	ikedayuu@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	井上卓也	inouetak@cc.saga-u.ac.jp
精神医学	教授	門司晃	amonji@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	溝口義人	ymizo@cc.saga-u.ac.jp
小児科学	教授	松尾宗明	matsuo@cc.saga-u.ac.jp
一般・消化器外科学	教授	能城浩和	noshiro@cc.saga-u.ac.jp
整形外科学	教授	馬渡正明	mawatam@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	園畑素樹	sonohata@cc.saga-u.ac.jp
脳神経外科学	教授	阿部竜也	abet@cc.saga-u.ac.jp
泌尿器科学	教授	野口満	nogman@cc.saga-u.ac.jp
産婦人科学	教授	横山正俊	yokoyam1@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	中尾佳史	nakaoy@cc.saga-u.ac.jp
眼科学	教授	江内田寛	enaida@cc.saga-u.ac.jp
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授	倉富勇一郎	kuratomy@cc.saga-u.ac.jp
放射線医学	教授	入江裕之	irie@cc.saga-u.ac.jp

講 座	職 名	氏 名	メールアドレス
放 射 線 医 学	准教授	水 口 昌 伸	mizuguch@cc.saga-u.ac.jp
麻 酔 ・ 蘇 生 学	教 授	坂 口 嘉 郎	yoshiro@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	平 川 奈 緒 美	hirakan@cc.saga-u.ac.jp
歯 科 口 腔 外 科 学	教 授	山 下 佳 雄	yamashy2@cc.saga-u.ac.jp
臨 床 検 査 医 学	教 授	末 岡 榮 三 朗	sueokae@cc.saga-u.ac.jp
救 急 医 学	教 授	阪 本 雄 一 郎	sakamoy@cc.saga-u.ac.jp
国 際 医 療 学	教 授	青 木 洋 介	aokiy3@cc.saga-u.ac.jp
医療連携システム部門	教 授	川 口 淳	akawa@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	富 永 広 貴	hirotaka@cc.saga-u.ac.jp
福祉健康科学部門	教 授	堀 川 悦 夫	ethori@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	松 尾 清 美	matsuoki@cc.saga-u.ac.jp
地域包括医療教育部門	教 授	小 田 康 友	oday@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	坂 本 麻 衣 子	masaka@cc.saga-u.ac.jp
手 術 部	准教授	高 松 千 洋	ctaka@cc.saga-u.ac.jp
放 射 線 部	准教授	中 園 貴 彦	nakazot@cc.saga-u.ac.jp
総 合 診 療 部	教 授	山 下 秀 一	syama@cc.saga-u.ac.jp
病 理 部	准教授	甲 斐 敬 太	kaikeit@cc.saga-u.ac.jp
医 療 情 報 部	准教授	高 崎 光 浩	takasaki@cc.saga-u.ac.jp
薬 剤 部	教 授	※ 藤 戸 博	fujito@cc.saga-u.ac.jp
先進総合機能回復センター	准教授	浅 見 豊 子	asamit@cc.saga-u.ac.jp
卒後臨床研修センター	准教授	江 村 正	emura@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	吉 田 和 代	yoshidak@cc.saga-u.ac.jp
形 成 外 科	准教授	上 村 哲 司	uemurat@cc.saga-u.ac.jp
循 環 制 御 学	教 授 (寄附)	尾 山 純 一	junoyama@cc.saga-u.ac.jp
心 不 全 治 療 学	准教授 (寄附)	琴 岡 憲 彦	kotooka@cc.saga-u.ac.jp
地 域 医 療 支 援 学	教 授 (寄附)	杉 岡 隆	sugioka@cc.saga-u.ac.jp
肝 疾 患 セ ン タ ー	教 授	江 口 有 一 郎	eguchiyu@cc.saga-u.ac.jp
先 進 外 傷 治 療 学	教 授 (寄附)	井 上 聡	manatama@cc.saga-u.ac.jp
臓 器 相 関 情 報	教 授 (寄附)	長 尾 由 実 子	nagaoyu@cc.saga-u.ac.jp
臓 器 再 生 医 工 学	教 授 (寄附)	中 山 功 一	koichi77@cc.saga-u.ac.jp
総合分析実験センター (生物資源開発部門)	准教授	北 嶋 修 司	kitajims@cc.saga-u.ac.jp

講 座	職 名	氏 名	メールアドレス
総合分析実験センター (機 器 分 析 部 門)	准教授	寺 東 宏 明	terato@cc.saga-u.ac.jp
保 健 管 理 セ ン タ ー	教 授	佐 藤 武	satot@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	尾 崎 岩 太	ozaki@cc.saga-u.ac.jp
全 学 教 育 機 構	准教授	福 留 健 司	fukudome@cc.saga-u.ac.jp
教 育 学 部	准教授	山 津 幸 司	kyamatsu@cc.saga-u.ac.jp

注) ※印が付されている指導教員は平成 30 年 3 月定年退職予定

5 授 業 科 目 (平成 29 年度入学者)

区 分	授 業 科 目	開 講 時 期	必 修 選 択 の 区 分	授 業 を 行 う 年 次	単 位 数			備 考	
					講 義	演 習	実 習		
共通必修科目	人体構造機能学概論	前	必修	1	2			7単位を修得すること。	
	病因病態学概論	後	必修	1	2				
	社会・予防医学概論	前	必修	1	2				
	生命科学倫理概論	後	必修	1	1				
系必修科目	学系基礎生命科学コース	分子生命科学概論	前	必修	1	2		いずれか 1 つの系区分 12 単位を修得すること (ただし, がん地域医療人養成コースについては, 「がん地域医療系コース」を修得すること) ※修士論文研究指導を通じて履修する	
		基礎生命科学研究法※		必修	1~2	2			
		基礎生命科学研究実習※		必修	1~2		8		
	学系医療科学コース	臨床医学概論	前	必修	1	2			
		医療科学研究法※		必修	1~2		2		
		医療科学研究実習※		必修	1~2		8		
	学系総合ケア科学コース	総合ケア科学概論	前	必修	1	2			
		総合ケア科学研究法※		必修	1~2		2		
		総合ケア科学研究実習※		必修	1~2		8		
	学系がん地域医療コース	臨床腫瘍学概論	前	必修	1	2			
		がん地域医療研究法※		必修	1~2		2		
		がん地域医療研究実習※		必修	1~2		8		
共通選択必修科目	研究科間共通科目 (注1)	通	選択必修	1・2	(注1)		2単位以上を修得すること。		

区分	授業科目	開講時期	必修 選択 の区分	授業を 行う 年次	単位数			備考
					講義	演習	実習	
専門 選択 科目 I	人体構造実習	前	選択	1・2			1	9単位以上をコースワークに沿って選択修得すること(ただし, がん地域医療人養成コースについては, 「医用統計学特論」「臨床腫瘍学」を含め3単位以上を修得すること)
	病院実習	前	選択	1・2			1	
	医用統計学特論	前	選択	1・2	1			
	医用情報処理特論	前	選択	1・2	1			
	実験動物学特論	前	選択	1・2	1			
	実験・検査機器特論	前	選択	1・2	1			
	バイオテクノロジー特論	通	選択	1・2	1			
	解剖学特論	後	選択	1・2	1			
	生理学特論	前	選択	1・2	1			
	分子生化学特論	後	選択	1・2	1			
	微生物学・免疫学特論	前	選択	1・2	1			
	薬物作用学特論	後	選択	1・2	1			
	病理学特論	後	選択	1・2	1			
	法医学特論	前	選択	1・2	1			
	環境・衛生・疫学特論	前	選択	1・2	1			
	精神・心理学特論	後	選択	1・2	1			
	遺伝子医学特論	後	選択	1・2	1			
	周産期医学特論	後	選択	1・2	1			
	障害者・高齢者支援こみる差別と偏見	後	選択	1・2	1			
	高齢者・障害者の生活環境(道具と住宅)特論	前	選択	1・2	1			
	リハビリテーション医学特論	前	選択	1・2	1			
	健康スポーツ医学特論(注2)	前	選択	1・2	1			
	緩和ケア特論(注2)	前	選択	1・2	1			
	心理学的社会生活行動支援特論	前	選択	1・2	1			
	高齢者・障害者生活支援特論	前	選択	1・2	1			
	対人支援技術特論Ⅰ	後	選択	1・2	1			
対人支援技術特論Ⅱ	後	選択	1・2	1				
地域医療科学特論	前	選択	1・2	1				
アカデミックリーディング	後	選択	1・2	1				
臨床腫瘍学◎	前	選択	1・2	1				

区 分	授 業 科 目	開 講 時 期	必 修 選 択 の 区 分	授 業 を 行 う 年 次	単 位 数			備 考
					講 義	演 習	実 習	
専 門 選 択 科 目 Ⅱ ① （がん地域医療人養成コース必修科目） ◎	臨床腫瘍治療実習 Ⅰ	通	選 択	1・2			1	がん地域医療人養成コースについては、全6単位を修得すること （◎希望の科目を選択・履修すること）
	臨床腫瘍治療実習 Ⅱ	通	選 択	1・2			1	
	臨床腫瘍治療実習 Ⅲ	通	選 択	1・2			1	
	臨床腫瘍治療実習 Ⅳ	通	選 択	1・2			1	
	臨床腫瘍治療実習 Ⅴ	通	選 択	1・2			1	
	臨床腫瘍治療実習 Ⅵ	通	選 択	1・2			1	
	◎インテンシブコースで履修が可能							

《必修科目を含め合計30単位以上を修得すること》

(注1) 研究科間共通科目については、別に定める科目表による。

(注2) 公開授業

6 履 修 方 法

修士課程医科学専攻においては、入学後に指導教員の助言の下に、各自が希望する進路及び修学目的に適合した履修コースを決め、それに基づいて各自の学習目標や研究テーマなどに即した修士課程2年間の履修計画を立てます。

授業科目は、次の区分で構成されています。

[共 通 必 修 科 目]：医科学の基本的教育を行い、基礎的素養を涵養することを目的とした科目群で、全てのコースで必修です。

[系 必 修 科 目]：希望するコースを学び研究を行う上で必要な科目で、これに含まれている系別「研究法」及び「研究実習」では、研究を行うために必要な研究デザインの理論と研究実践の技術等を学びます。

[共通選択必修科目]：研究科間共通科目で、2単位以上を修得します。

[専 門 選 択 科 目]：コース及び各自の目的に沿って専門分野の理解を深め、あるいは幅広い知識を修得するための科目群で、9科目以上を選択履修します。

「共通必修科目」の4科目・7単位、「系必修科目」の3科目・12単位、「共通選択必修科目」の2単位以上及び「専門選択科目」から9科目・9単位以上、合計30単位以上を履修し、各自の目的と専門性に応じた研究活動を遂行するために必要な豊かな学識と優れた技術を修得します。

7 修 了 の 要 件

修士課程医科学専攻を修了するためには、大学院に2年以上在学し、前項の授業科目30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとしています。

V 学生募集要項(修士課程看護学専攻)

1 募集人員

看護学専攻 平成 29 年 10 月入学 若干人（「社会人特別入試」を含みます。）

平成 30 年 4 月入学 16 人（「社会人特別入試」を含みます。）

(注) 平成 29 年 10 月入学に志願する場合は、「研究・教育者コース」のみの募集です。
（「専門看護師コース」を選択することはできません。）

2 出願資格

一般入試

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成 30 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で 文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

- (10) 学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者で、本学大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認められた者
- (11) 外国において、学校教育における 15 年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認められた者
- (12) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認められた者
- (13) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認められた者
- (14) 大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者

社会人特別入試

上記の出願資格のいずれかに該当する者で、官公庁、教育機関、病院、企業等の現業に従事し、平成 30 年 4 月 1 日現在（平成 29 年 10 月入学については、平成 29 年 10 月 1 日現在）で、社会人として 3 か年以上の実務経験を有する者とします。

※平成 29 年 10 月入学については、出願資格中「平成 30 年 3 月卒業（修了）見込みの者」とあるのは、「平成 29 年 9 月卒業（修了）見込みの者」と読み替えてください。

※上記(14)は短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の卒業生（修了者）等を示す。
※出願資格(9)～(14)で出願する者は、出願に先立ち、個別の入学資格審査を受ける必要があります。「4 個別の入学資格審査」の項を参照の上申請してください。

3 出願手続

(1) 指導教員との事前相談

修士課程では、授業による学習に加えて、希望する研究室に所属して研究指導を受けることに重点が置かれています。

出願の手続きをする前に、研究指導を希望する教員と連絡を取り、入学後の研究内容などについて相談を行い、志望する指導教員を決めてください。

本冊子 47 ページ、指導教員一覧のメールアドレスに連絡してください。

(2) 出願期間

平成 29 年 10 月入学	平成 29 年 7 月 26 日 (水) ~
平成 30 年 4 月入学 (1 次募集)	平成 29 年 8 月 1 日 (火) 9 時から 17 時まで
平成 30 年 4 月入学 (2 次募集)	平成 29 年 11 月 8 日 (水) ~ 平成 29 年 11 月 15 日 (水) 9 時から 17 時まで

※ 土・日曜日、祝日は受付を行いません。

郵送（書留郵便）による場合も最終受付日は 17 時までに必着とします。

(3) 提出先

〒840 - 8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学学務部入試課

(4) 出願書類（*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。）

出 願 書 類	摘 要	出 願 者	
		一 般 入 試	社会人 特 別 入 試
入 学 検 定 料 30,000 円	*検定料振込依頼書（様式院 9-1）を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 （注）	○	○
*検定料振込証明台紙 （様式院 9-2）	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。 ※入学検定料が不要な者も、必要事項を記入のうえ提出してください。	○	○
*入 学 願 書 （様式院 1-1） 留学生用（様式院 2-1）	写真は、出願前 3 か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向、縦 3.5 cm×横 3 cmのものを所定の欄に貼り付けてください。	○	○
*履 歴 書 （様式院 1-2） 留学生用（様式院 2-2）	所要事項を記入してください。	○	○
*受験票・写真票 （様式院 3-1, 3-2）	写真は、出願前 3 か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向、縦 3.5 cm×横 3 cmのものを所定の欄に貼り付けてください。	○	○
成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの。 ※姓が変わられた方は、旧姓を証明できるもの（戸籍抄本等）を併せて提出してください。	○	○
卒業（修了）証明書等	卒業（修了）証明書または見込証明書※卒業（修了）見込みで受験した者は、卒業（修了）後速やかに卒業（修了）証明書を提出してください。	○	○
*志 願 理 由 書 （様式院 4）	①志願の理由（400 字程度） ②経験した実務の概要（400 字程度）	○	○
学位授与証明書 （又は学位授与申請 を受理した旨の証明 書）	出願資格(2)に該当する者で大学評価・学位授与機構が証明したもの。（なお、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業（修了）見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。）	該当者	該当者

出願書類	摘 要	出 願 者	
		一 般 入 試	社会人 特 別 入 試
「住民票」または「在留カード」の写し	日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カードの表裏両面の写しでも可） 出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。	該当者	該当者
在職期間証明書	平成30年4月1日現在（平成29年10月入学については、平成29年10月1日現在）で現職を含めて3年以上の実務経験を有することが確認できる書類（様式自由）		○
*業績報告書（様式院5）	研究発表、論文、著書等があれば、題名、掲載誌名、巻・号、発表年月を記入し、業績内容を示すもの（論文等の別刷または写し）を提出してください。		○
*受験承認書（様式院6）	官公庁、教育機関、病院、企業等に在職中の者は、所属長の受験承認書を提出してください。	該当者	○
*住所届（様式院10）	必要事項を自筆で記入してください。	○	○
*受験票送付用封筒	長形3号の封筒に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入のうえ、362円切手（速達）を貼り付けてください。（「受験票返信用封筒ラベル」を使用すること）	○	○
*業績調書（様式院11）	履修コースで、「専門看護師コース」を希望する者は、具体的に記入のうえ、提出してください。	該当者	該当者

(注) 下記の場合は出願を受理しません。

- ① 検定料が振り込まれていない場合（「C票 検定料振込証明書」に出納印がない場合）
- ② 振り込み済の「C票 検定料振込証明書」が検定料振込証明台紙に貼り付けられていない場合

※出願書類を受理した後は、振り込み済の検定料は返還いたしません。

次の場合は、検定料の返還請求ができますので、必ず手続きをしてください。

- ① 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合
- ② 検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお、返還請求の方法等については、学務部入試課（0952-28-8178）までお問い合わせください。

○ 熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した

場合

② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

2. 申請方法

事前に学務部入試課に連絡し、該当すると判断された者は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

3. 申請書類

(ア)「入学検定料免除申請書」

本学ホームページ「入試案内,募集要項等ダウンロード(<http://www.sao.saga-u.ac.jp/gakubugakububosyuuyoukou.html>)」からダウンロードできます。

(イ)「り災証明書(写し可)」(上記1.①に該当する者)

(ウ)「死亡又は行方不明を証明する書類」(上記1.②に該当する者)

(5) 出願上の留意事項

- ① 入学願書の記入漏れ等がないように十分留意してください。
- ② 一度受理した出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 出願期間後に到着したもの及び出願書類等に不備があるものは受理できません。
- ④ 出願書類等は一括して取りそろえ、出願者が直接出願してください。
- ⑤ 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 本学では、他の大学(学部又は大学院の正規課程)等との二重在籍は認めていません。出願時に大学院に在学のまま受験した者は、入学後、退学証明書を医学部学生課へ提出する必要があります。

4 個別の入学資格審査

出願資格(9)～(14)により出願しようとする者については、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので、関係書類を次により提出してください。

なお、1次募集における本研究科の審査で出願資格を認定された者は、2次募集に出願する場合、あらためて入学資格審査を申請する必要はありません。

(注) 外国の学校の卒業者は入学資格審査を要する場合がありますので、事前に佐賀大学医学部学生課入試担当(0952-34-3130)に問い合わせてください。

(1) 提出書類(*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。)

出 願 書 類	摘 要	出 願 資 格		
		(9) (10)	(11) (12) (13)	(14)
*入学資格個別審査願 (様式院 7)		○	○	○

*研究テーマ (様式院 8)	現在, 興味をもっている研究テーマ (1,000 字以内)	○	○	○
*業績報告書 (様式院 5)	研究発表, 論文, 著書等の題名, 掲載誌名, 巻・号, 発表年月を記入し, 業績内容を示すもの(論文等の別刷または写し)を提出してください。			○
卒業(修了)証明書	短期大学, 専修学校, 各種学校等の卒業(修了)証明書または見込証明書 ※外国の学校教育における15年の課程を修了した者は, 修了証明書		○	○
在職期間証明書	現職を含めて3年以上の実務経験を有することが確認できる書類(様式自由)			○
在学証明書 (在学年次が明記されているもの)	出身学校の長が証明したもの	○		
成績証明書	最終出身学校の長が証明したもの	○	○	

※ 各種証明書に記載された姓から変わられた方は, 旧姓を証明できるもの(戸籍抄本等)を併せて提出してください。

(2) 提出期限

平成 29 年 10 月 入学	平成 29 年 7 月 7 日 (金) 17 時まで
平成 30 年 4 月 入学 (1 次 募集)	
平成 30 年 4 月 入学 (2 次 募集)	平成 29 年 10 月 20 日 (金) 17 時まで

土・日曜日, 祝日は受付を行いません。郵送(書留郵便)による場合は, 封筒の表に「入学資格個別審査願在中」と朱書きし, 上記同時刻までに必着するよう発送してください。

(3) 提出先 佐賀大学医学部学生課入試担当

〒849 - 8501 佐賀県佐賀市鍋島 5 丁目 1 番 1 号

(4) 認定の結果

平成 29 年 10 月 入学	平成 29 年 7 月 24 日 (月) までに, 本人に通知します。
平成 30 年 4 月 入学 (1 次 募集)	
平成 30 年 4 月 入学 (2 次 募集)	平成 29 年 11 月 6 日 (月) までに, 本人に通知します。

5 入学者選抜方法

(1) 選抜の方法

- ① 一般入試 筆記試験(英語), 小論文, 面接及び口頭試問ならびに成績証明書等の結果を総合して判定します。
- ② 社会人特別入試 小論文, 面接及び口頭試問, 志願理由書, 業績報告書ならびに成績証明書等の結果を総合して判定します。

(2) 試験の日時等

期 日	実施項目	実施時間	備 考	一 般	社 会 人
平成 29 年 10 月入学 平成 30 年 4 月入学 (1 次募集) 平成 29 年 9 月 5 日 (火)	筆記試験 (英語)	9 : 30 ~ 10 : 30	「辞書」の持込み 可とし「電子辞書」 は不可とします。	○	
平成 30 年 4 月入学 (2 次募集) 平成 29 年 12 月 12 日 (火)	小論文	11 : 00 ~ 12 : 00		○	○
	面接及び 口頭試問	13 : 00 ~	主として志望する 分野について行い ます。	○	○

(注) 受験者は、各自が受験する科目の開始時刻 20 分前までに佐賀大学医学部 (鍋島キャンパス) に集合してください。

6 合格者の発表及び通知

本学ホームページ (<http://www.sao.saga-u.ac.jp/>) に 10 時から合格者の受験番号を発表するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による合否に関する問い合わせには一切応じかねます。

平成 29 年 10 月入学	平成 29 年 9 月 25 日 (月)
平成 30 年 4 月入学 (1 次募集)	
平成 30 年 4 月入学 (2 次募集)	平成 29 年 12 月 27 日 (水)

※ 入学手続については本冊子 50 ページ「共通事項」を確認してください。

VI 修士課程看護学専攻案内

1 修士課程医科学専攻の教育目的

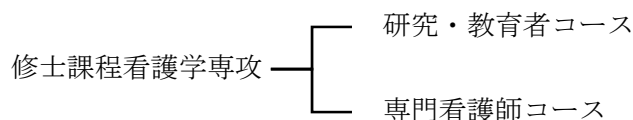
高度の専門性を有する看護職者にふさわしい広い視野に立った豊かな学識と優れた技能を有し、国内及び国際的に看護学の教育、研究、実践の各分野で指導的役割を果たし、看護学の構築に寄与できる人材を育成します。

2 学 位

修士課程看護学専攻で取得できる学位は修士（看護学）です。

3 教育・研究指導

修士課程看護学専攻は、社会の要請に応え看護の各分野において活躍できる、優れた研究・教育及び高度な看護実践能力を有する看護専門職者を育成するため、その育成する人材像に応じて、教育課程を整備し、平成 23 年度から「研究・教育者コース」、「専門看護師コース」の 2 つのカリキュラムコースを編成しました。



〔研究・教育者コース〕

研究・教育・実践の関連性に基づき、看護実践向上の基盤となる研究・教育について高度な知識と優れた遂行能力を有し、看護の各分野において優れたリーダーシップが発揮できる研究者・教育者・実践者として、看護を開発していくことができる人材を育成します。

〔専門看護師コース〕

質の高い医療へのニーズに応え、特定の専門看護分野における卓越した看護実践能力をもつスペシャリストとしての役割が発揮できる人間性豊かな人材を育成します。

本学では平成 23 年度から専門看護師「慢性看護」の資格取得に必要な履修科目を日本看護系大学協議会の基準に沿って設定しました。本研究科が定める所定の単位を修得することにより、慢性看護専門看護師の取得を目指すことができます。

4 指導教員一覧

出願の手続きをする前に、入学後の教育・研究内容などについて、研究指導を希望する教員と相談を行うことになっています。医学系研究科ホームページ (<http://www.gs.med.saga-u.ac.jp/index.html>) を参考に、希望する指導教員を決めてください。

講座	職名	氏名	メールアドレス
統合基礎看護学	教授	河野 史	kawanoh@cc.saga-u.ac.jp
	教授	長家 智子	tomoshs@cc.saga-u.ac.jp
	教授	藤野 成美	fujinon@cc.saga-u.ac.jp
	教授	新地 浩一	shinchik@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	村田 尚恵	murana@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	福山 由美	yumifuku@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	村久保 雅孝	murakubo@cc.saga-u.ac.jp
生涯発達看護学	教授	佐藤 珠美	tsatoh@cc.saga-u.ac.jp
	教授	鈴木 智恵子	chiekosu@cc.saga-u.ac.jp
	教授	古賀 明美	kogaake@cc.saga-u.ac.jp
	教授	田淵 康子	ytabuchi@cc.saga-u.ac.jp
	教授	有吉 浩美	ariyoshi@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	中野 理佳	nakanor@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	熊谷 有記	kumagaiy@cc.saga-u.ac.jp
	准教授	室屋 和子	kazumuro@cc.saga-u.ac.jp

5 授業科目 (平成 29 年度入学者)

区分	授業科目	開講時期	授業を行う年次	単位数						備考
				研究教育者コース			専門看護師コース			
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
必修科目	研究・教育者コース 看護学研究法演習 看護学特別研究	通年	1・2	2					14 単位を修得すること。	
	1～2		1 2							
	専門看護師コース 課題研究		2			4			4 単位を修得すること。	
共通選択必修科目	看護理論	前	1・2	2		2		8 単位以上を修得すること。		
	看護倫理	後	1・2	2		2				
	看護研究概論	前	1・2	2		2				
	看護教育論	後	1・2	2		2				
	看護管理	前	1・2	2		2				
	コンサルテーション論	後	1・2	2		2				
	研究科間共通科目 (注)	通	1・2	(注)						研究・教育者コースは 2 単位以上を修得すること。

区分	授業科目	開講時期	授業を行う年次	単位数						備考
				研究・教育者コース			専門看護師コース			
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専門選択必修科目Ⅰ	看護援助学特論	後	1・2	1			1			研究・教育者コースは6単位以上を修得すること。 (専門選択必修科目Ⅱの慢性看護方法論Ⅰ及び修士課程医科学専攻の専門選択科目のうち2単位以内を含めることができる。) 専門看護師コースは「慢性看護論」を含め2単位以上を修得すること。
	看護機能形態学特論	後	1・2	1			1			
	急性期看護学特論	前	1・2	1			1			
	慢性看護論	前	1・2	2			2			
	母性看護学特論	前	1・2	1			1			
	小児看護学特論	前	1・2	1			1			
	母子看護展開論	通	1・2	1			1			
	老年看護学特論	後	1・2	1			1			
	地域看護学特論	後	1・2	1			1			
	在宅看護学特論	後	1・2	1			1			
	国際看護学特論	前	1・2	1			1			
	精神看護学特論	後	1・2	1			1			
	看護統計学演習	前	1・2	1			1			
	看護教育方法論	前	1・2	1			1			
がん看護学特論	前	1・2	1			1				
生体構造観察法	通	1・2	2			2				
実践課題実習	通	1・2			2			2		
専門選択必修科目Ⅱ	慢性介護	分野専門科目	慢性看護対象論	前	1・2			2		10単位を修得すること。
			慢性看護方法論Ⅰ	前	1・2			1		
			慢性看護方法論Ⅱ	前	1・2			1		
			慢性看護展開論	前	1・2			2		
			慢性看護援助論Ⅰ	後	1・2			2		
			慢性看護援助論Ⅱ	後	1・2			2		
	分野実習科目	慢性看護学実習Ⅰ	通	1・2					2	6単位を修得すること。
		慢性看護学実習Ⅱ	通	1・2					4	

(注) 研究科間共通科目については、別に定める科目表による。

6 履修方法

修士課程看護学専攻においては、入学後に指導教員の助言の下に、各自の希望する履修コースを基本に進路および修学目的に適合した修士課程2年間の履修計画を立てます。

授業科目は、「必修科目」、「共通選択必修科目」、「専門選択必修科目Ⅰ」及び「専門選択必修科目Ⅱ」から構成されています。

[必修科目]: 希望するコースを学び研究遂行及び研究的取り組みを行う上で必要な科目で、研究・教育者コースは14単位、専門看護師コースは4単位を修得します。

[共通選択必修科目]: 看護学の共通基礎として理解を深めることを目的としており、

8 単位以上を選択履修します。さらに、研究・教育者コースは、研究科間共通科目を2 単位以上修得します。

[専門選択必修科目Ⅰ]：各自の目的に沿って専門分野の理解を深め、あるいは幅広い知識を修得するための科目群で、研究・教育者コースは6 単位以上を修得します。専門看護師コースは慢性看護論を含め2 単位以上を修得します。

[専門選択必修科目Ⅱ]：「分野専門科目」と「分野実習科目」に区分されています。専門看護師コースにおいて開設する慢性看護分野について、「分野専門科目」は、専門的な理解を深め幅広い知識を修得するための科目群で、6 科目 10 単位からなり、「分野実習科目」は、実習を通して共通選択必修科目・専門選択必修科目を基礎とした専門的実践を深めるための科目群で、2 科目 6 単位からなり、いずれも専門看護師コースは 必修です。

7 修了の要件

修士課程看護学専攻を修了するためには、大学院に2 年以上在学し、前項の授業科目につき 30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することが必要です。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1 年以上在学すれば足りるものとします。

共 通 事 項

1 入 学 手 続

入学手続きについては、合格通知書を送付する際にお知らせします。

入学手続きは、郵送により行います。

入学手続き期間

平成29年10月入学	平成29年9月26日（火）～
平成30年4月入学（1次募集）	平成29年9月29日（金）9時から17時まで
平成30年4月入学（2次募集）	平成30年3月23日（金）～ 平成30年3月27日（火）9時から17時まで

期間内に入学手続きをしなかった者は、入学辞退者とします。

2 納 入 金

入学料：282,000円（入学手続き時に納入してください。）

授業料：267,900円（前期・後期）〔年額535,800円〕

※この金額は平成29年4月現在のものです。

（留意事項）

- ① 入学時又は在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定後の入学料及び授業料を納入していただくこととなります。

なお、合格通知書送付の際、納入方法等改めてお知らせします。

- ② 授業料（前期分）は、入学手続き時に納入する必要はありません。納入期間は、下記の通りです。（入学後に付与される学籍番号が必要となります。）

【平成29年10月入学】 平成29年10月1日（日）～11月30日（木）

【平成30年4月入学】 平成30年4月4日（水）～5月31日（木）

- ③ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 入学手続き完了者で、特別な事情により平成30年3月30日（金）までに授業料を納入し、なおかつ平成30年3月30日（金）までに入学を辞退し、受理された場合には、納入した者の申し出により、納入済の授業料相当額を返還します。

平成29年10月入学希望の者は、「平成30年3月30日（金）」を「平成29年9月29日（金）」と読み替えるものとします。

- ⑤ 入学料の免除及び徴収猶予ならびに授業料の免除については、合格者に送付する関係書類を熟読の上、学生生活課に申し出てください。

3 奨 学 金 制 度

- （1）学業優秀で、経済的な理由により修学が困難な学生の皆さんのために奨学金制度が準備されています。

- ① 日本学生支援機構奨学金

・第一種奨学生(無利子)

博士課程 貸与月額 80,000円又は122,000円

修士課程 貸与月額 50,000円又は88,000円

・第二種奨学生(有利子)

貸与月額 50,000円, 80,000円, 100,000円, 130,000円, 150,000円から選択

② その他の奨学金

この他に地方公共団体及び民間育英団体等の奨学金制度があります。詳しくは、次の問い合わせ先にお尋ねください。

(2) 奨学金に関する問い合わせ先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

佐賀大学学務部学生生活課 奨学金担当 (TEL 0952-28-8172)

4 保険制度について

(1) 学生教育研究災害傷害保険加入について

大学に学ぶ学生が、教育研究活動中（正課中、学校行事中、課外活動中及び学内施設内）及び通学途中において、不慮の災害事故による傷害を受けることが少なくありません。そうした災害事故を受けた学生への補償救済のために「学生教育研究災害傷害保険」（略称「学研災」）の制度があります。

本学では、この保険の保険料を大学が負担し、加入手続も大学が一括して行っています。

(2) 損害賠償責任保険及び感染予防費用を含む保険への加入のお願いについて

学生生活全般において、偶発的な事故により他人にケガをさせたり、他人の財物等を損壊したりして法律上支払わなければならない賠償金が発生した際に支払われる損害賠償責任保険と、針刺し事故などの際に感染予防の措置を行うための費用を含む保険への加入をお願いしています。

任意加入ではありますが、本学では学生生活上の災害補償制度として位置づけていますので、加入することが必要です。

(参考) 学研災付帯学生生活総合保険

Cタイプ(自宅生) 35,400円

Fタイプ(下宿生) 41,390円

【上記保険料は平成29年度加入者に対する金額】

(保険期間は4年間でケガ・病気とも対象、賠償責任1事故1億円、感染予防費用50万円補償の場合)

5 障がい等を有する志願者との事前相談について

障がい等を有する志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願前に下記の内容を記載した申請書(様式は任意)を入試課に送付し相談してください。

なお、本学では、学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

＊申請書の内容

志願研究科・課程・専攻（医学系研究科を志願することを明記）

障がいの種類・程度

受験上の配慮を希望する事項

修学上の配慮を希望する事項

出身学校等でとられていた配慮

日常生活の状況

連絡先（氏名，電話番号，住所）

○ 相談の時期

平成 29 年 10 月入学	平成 29 年 7 月 19 日（水）まで
平成 30 年 4 月入学（1次募集）	
平成 30 年 4 月入学（2次募集）	平成 29 年 11 月 1 日（水）まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。また、期限後に本学を志望することとなった場合及び不慮の事故等により障がいを有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

6 本学医学系研究科独自の奨学制度

（1）研究奨励一時金制度

【対象】

博士課程に入学する者のうち、入学時の年齢が満 28 歳以下で優秀と認められる者（対象者には、学生課より連絡します）

【給付額】

282,000 円 入学時に 1 回限り

※詳細は下記へお問い合わせください。

佐賀大学医学部学生課大学院教育担当 電話 0952 - 34 - 3336

7 社会人学生に対する修学上の配慮

（1）教育方法の特例

本研究科では、修学を希望する社会人に対して、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例を適用した「夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法」による教育を実施しています。社会人学生は、指導教員と相談のうえ、授業及び研究指導を夜間や特定の時間又は時期に受けることができます。

また、一部の講義については、e ラーニングや講義 DVD による受講も可能です。

(2) 長期履修制度

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士課程 4 年、修士課程 2 年）を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。

① 対象者

職業を有する者ならびにその他やむを得ない事情のある者

② 長期履修の期間

博士課程 5 年以上 8 年以内

修士課程 3 年または 4 年

③ 申請方法

合格者に対して送付します「入学手続等のご案内」に同封する書類に従って申請してください。

「入学願書（様式院 1-1）」の該当欄に必要事項を記入してください。

なお、長期履修に関する申請は、入学時のみの受付となります。

④ 授業料について授業料は、標準修業年限分の授業料総額を、長期履修期間（年数）で分割した額を毎年納入することになります。

8 その他

(1) 入学試験に関する照会は、下記に問い合わせてください。

照会先 佐賀大学学務部入試課

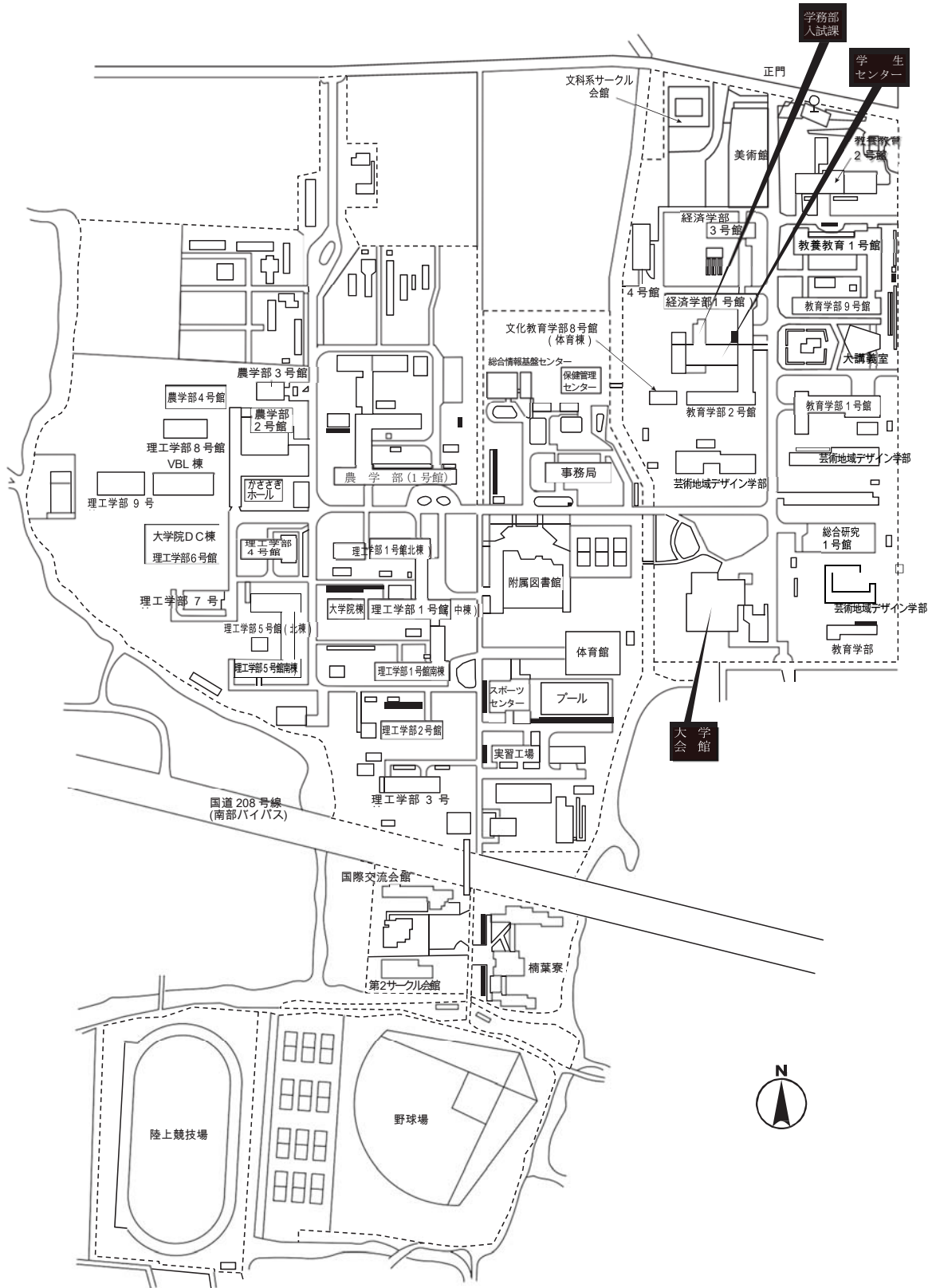
〒840 - 8502 佐賀市本庄町 1 番地 電話 0952-28-8178

(2) 選抜時における受験者の宿泊斡旋は行いません。

佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内

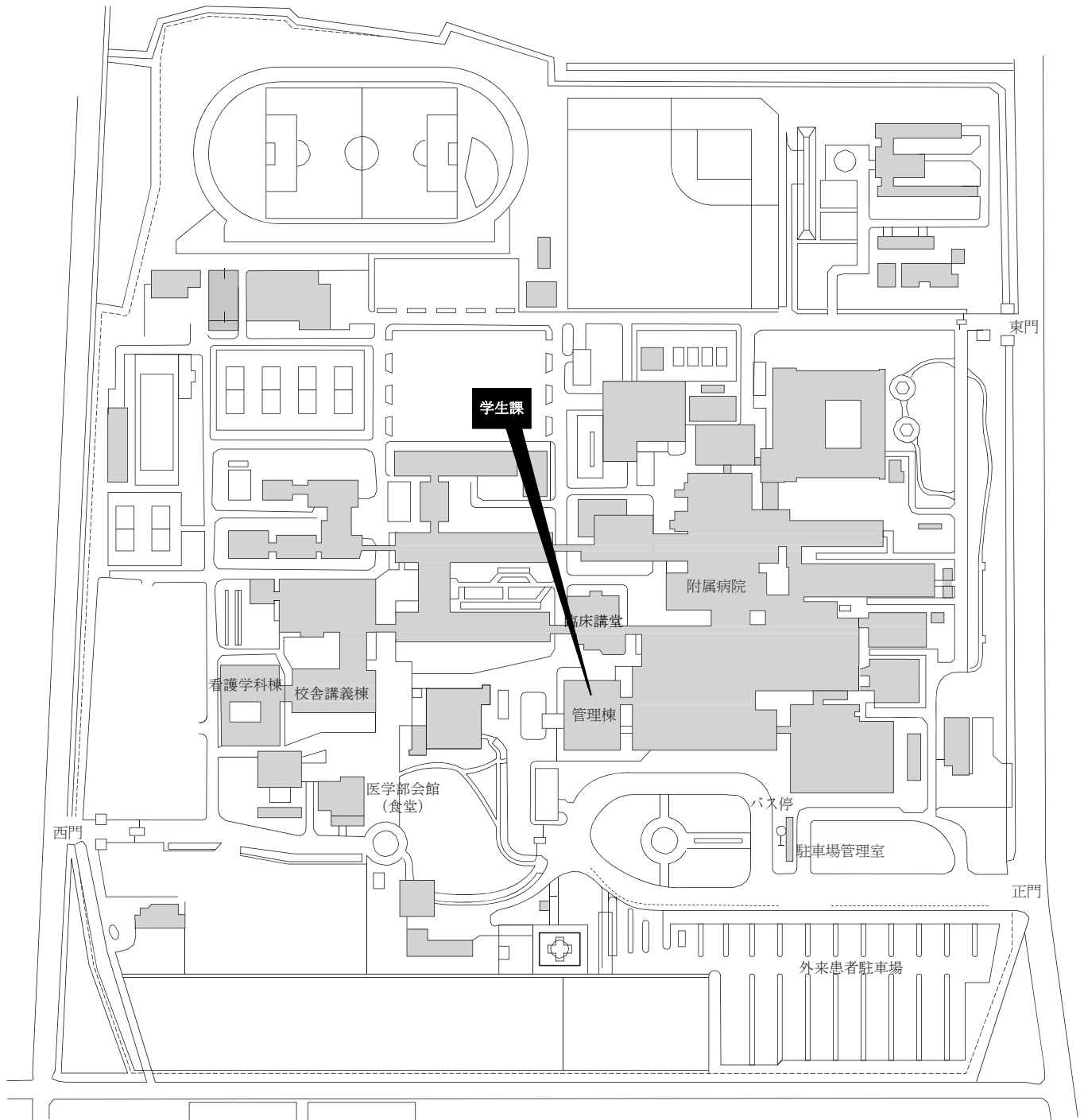
佐賀大学（本庄キャンパス）配置図

(教育学部, 芸術地域デザイン学部, 経済学部, 理工学部, 農学部)

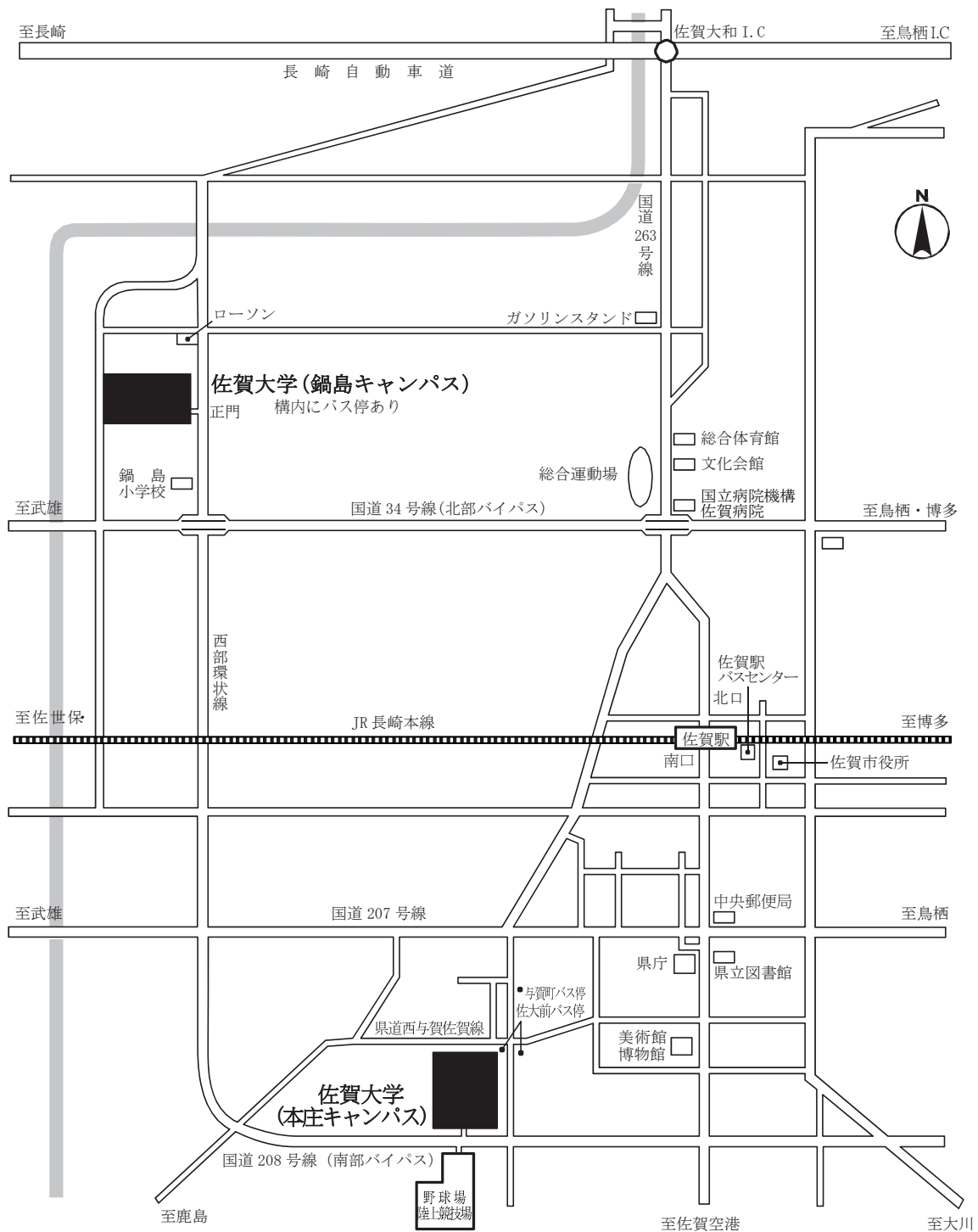


佐賀大学（鍋島キャンパス）配置図

(医 学 部)



佐賀市内略図



佐賀大学（本庄キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター4番のりばから市営バス【4】佐賀女子短大・高校線、【11】佐賀大学・西与賀線、【12】佐賀大学・東与賀線、【4】または【63】佐賀女子短大・高校線で約15分、「佐賀大学前」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約10分

佐賀大学（鍋島キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター2番のりばから市営バス【50】神野公園・佐賀大学病院線、【50】卸センター・佐賀大学病院線で約25分、終点「佐賀大学病院」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約20分